

# 東城ストックヤード施設新築工事

富永建築設計事務所

広島県庄原市川手町270-1  
TEL 0824-72-6669

1級建築士事務所  
登録番号 23(1)4914号

1級建築士登録  
第211472号 富永隆司

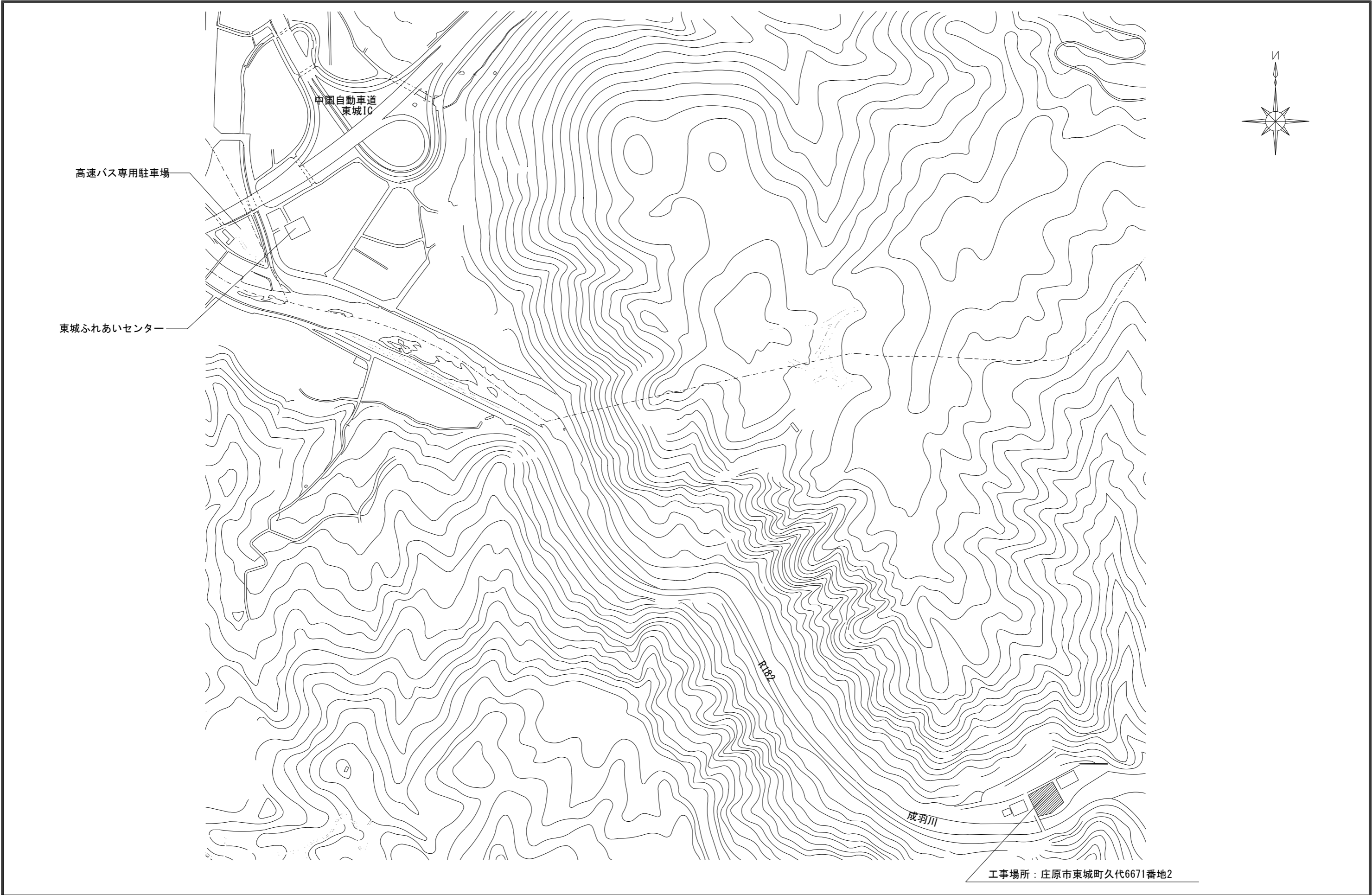
[illegible]

東城ストックヤード施設新築工事設計図		Ⅱ 特記仕様		4 地 業 工 事	2 既製コンクリート杭地業		7 鉄 骨 工 事	10 寒中コンクリート	
仕 様 書		Ⅰ 共通仕様			3 場所打ちコンクリート杭地業			9 デッキプレートの溶接	
1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されてない事項は、「国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官庁官									





[illegible]



	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士登録 第211472号 富永隆司		東城ストックヤード施設 新築工事	縮尺	設計	図面番号
				付近見取り図		R7・3	A-5

外部仕上表

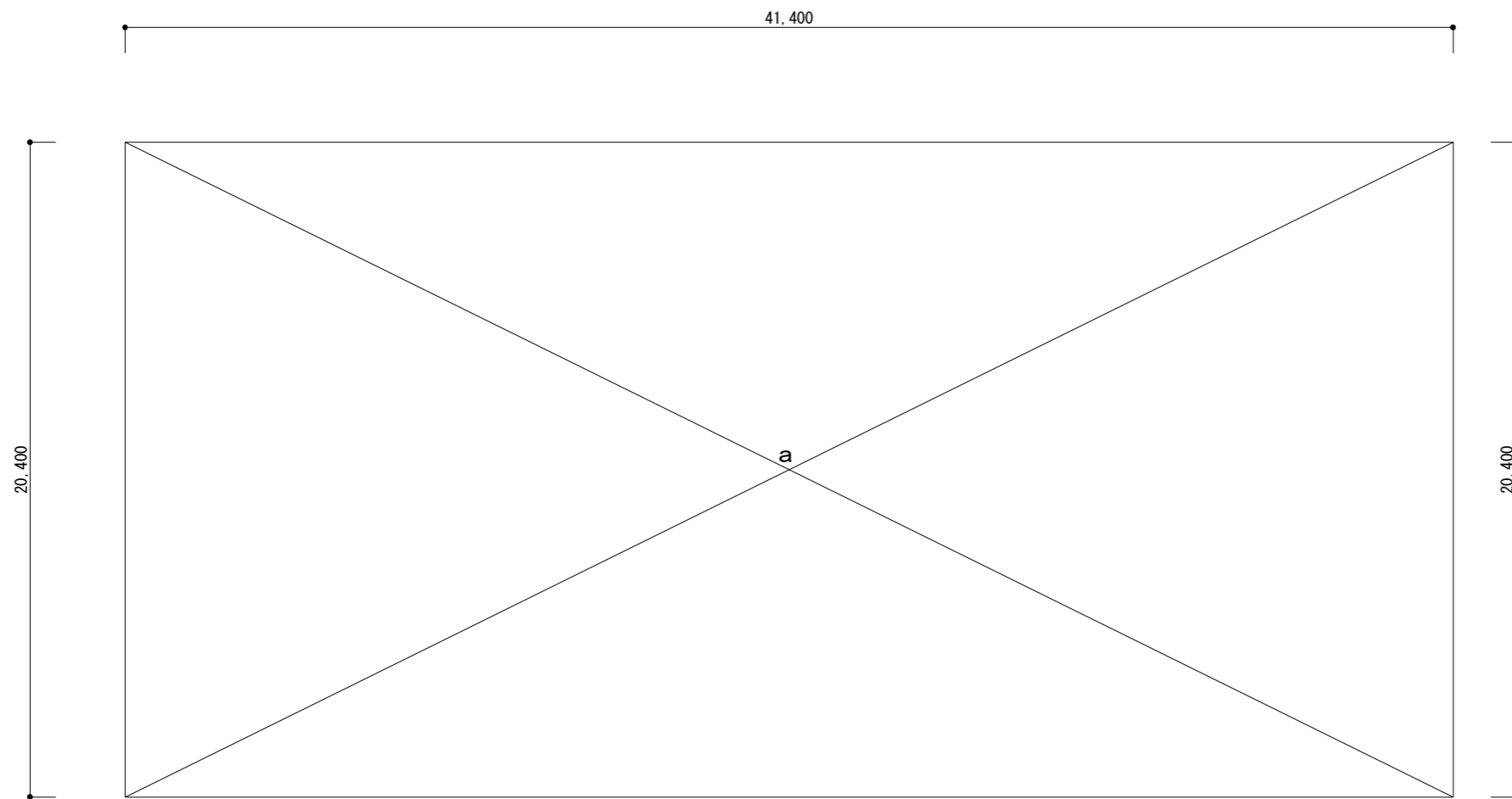
1	基礎腰	コンクリート打放補修 防水形複層塗材E吹付	5	建具	[S造] アルミサッシ（シルバー）見込70 窓廻りコーキング施工 [その他] 電動シャッター
2	外壁	[S造外壁] ALC t =100 防水系複層塗装吹付	6	樋	[縦樋] 硬質塩化ビニル管カラーφ100 掴み金物 ステンレス製 @1000以内 [軒樋] 大型塩ビ製角樋 W=200 掴み・吊り金物 ステンレス製 @300以内
3	軒裏 軒鼻	ルーフデッキ166ハゼ表し	7		
4	屋根	[屋根] ルーフデッキ166ハゼ 裏張りポリエチレンフォーム t =4.0	8		

内部仕上表

	室 名	床	巾木	壁		天井	天井高	備考
				下地	仕上			
1F	作業室	土間コンクリート金コテ仕上	―――	L G S （軽量鋼製壁下地） 石膏ボード下地7) 9. 5	ケイカル版 t =6. 0	表し		
	便所	磁器質タイル100×100	磁器質タイル100×100	L G S （軽量鋼製壁下地） 石膏ボード下地7) 9. 5	ケイカル版 t =6. 0	ジブトーン	CH=2400	
	踏込	土間コンクリート金コテ仕上	―――	L G S （軽量鋼製壁下地） 石膏ボード下地7) 9. 5	ケイカル版 t =6. 0	ジブトーン		
	階段室	タイルカーペット	OP塗装仕上	L G S （軽量鋼製壁下地） 石膏ボード下地7) 9. 5	クロス貼り	表し		
	プラットホーム	土間コンクリート金コテ仕上	―――	一部 L G S W 1 0 0 下地	L G S 表し ケイカル版 t =6. 0	表し		
	洗車場	土間コンクリート金コテ仕上	―――		ALC t =100	表し		
	搬出物置場	土間コンクリート金コテ仕上	―――		ALC t =100			
	洗車機置場	土間コンクリート金コテ仕上	―――	L G S （軽量鋼製壁下地）	防水ボード7) 9. 5仕上げ	防水ボード t =9. 5		
2F	監視室	タイルカーペット	ソフト巾木 H=100	L G S （軽量鋼製壁下地） 石膏ボード下地7) 12. 5	クロス貼り	化粧石膏ボード貼 7) 9. 0 （不燃）	CH=2350	天井点検口アルミ450×450 流し台W1200
	階段	タイルカーペット	OP塗装仕上	L G S （軽量鋼製壁下地） 石膏ボード下地7) 12. 5	クロス貼り	表し		

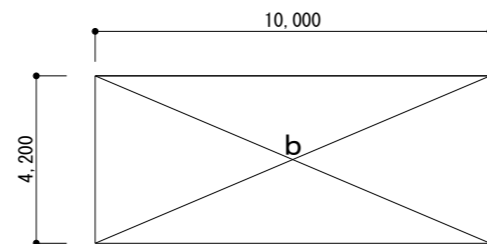
ケイカル版 NM-8576  
クロス QM-0822  
ジブトーン NM-1864

	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669 1級建築士登録 第211472号 富永隆司		東城ストックヤード施設 新築工事	縮尺	設計	図面番号
			内外仕上表	－	R7・3	A-6




1階面積求積図 1/200

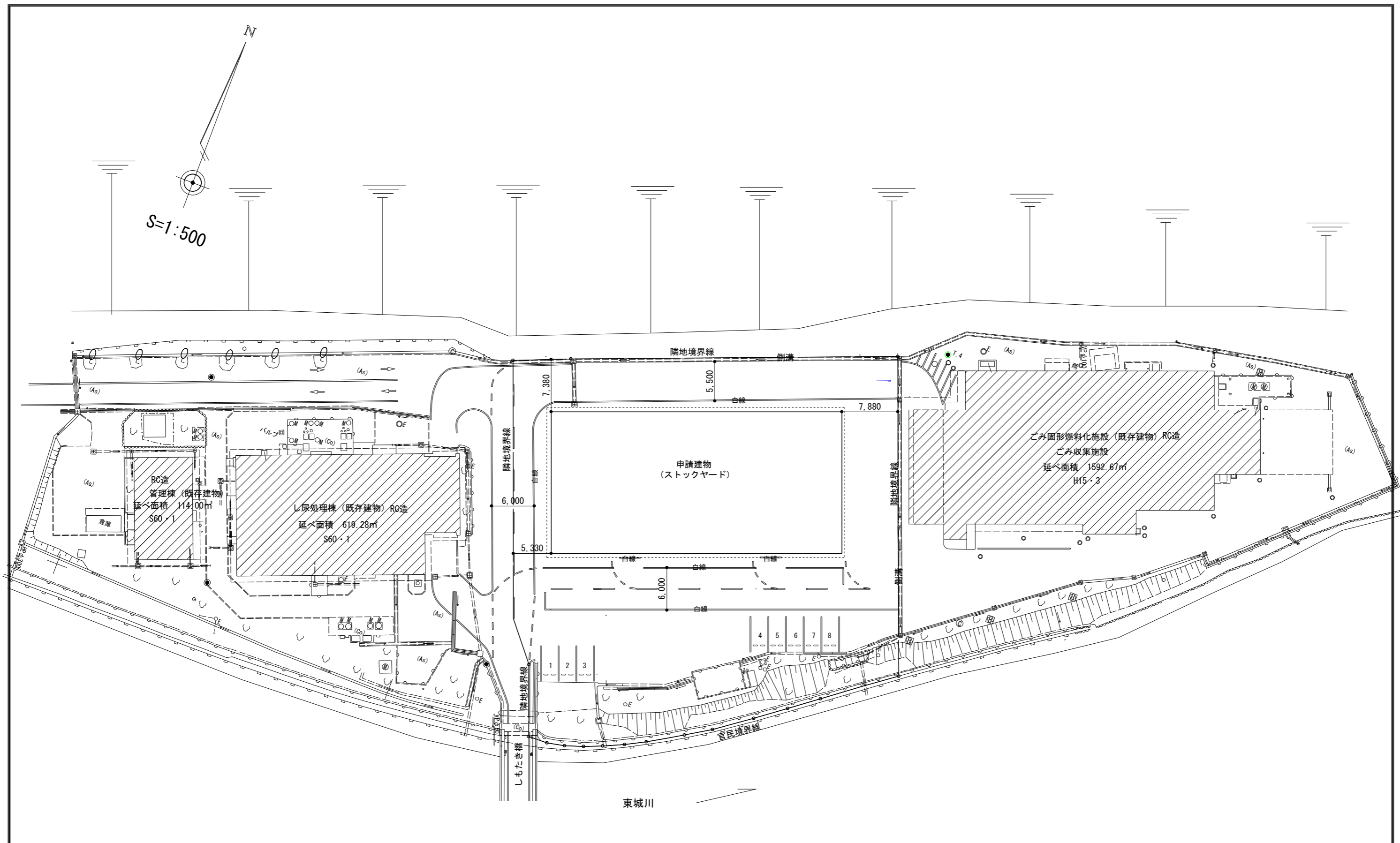
a  $41.400 \times 20.400 = 844.56$   
b  $10.000 \times 4.200 = 42.000$



2階面積求積図 1/200

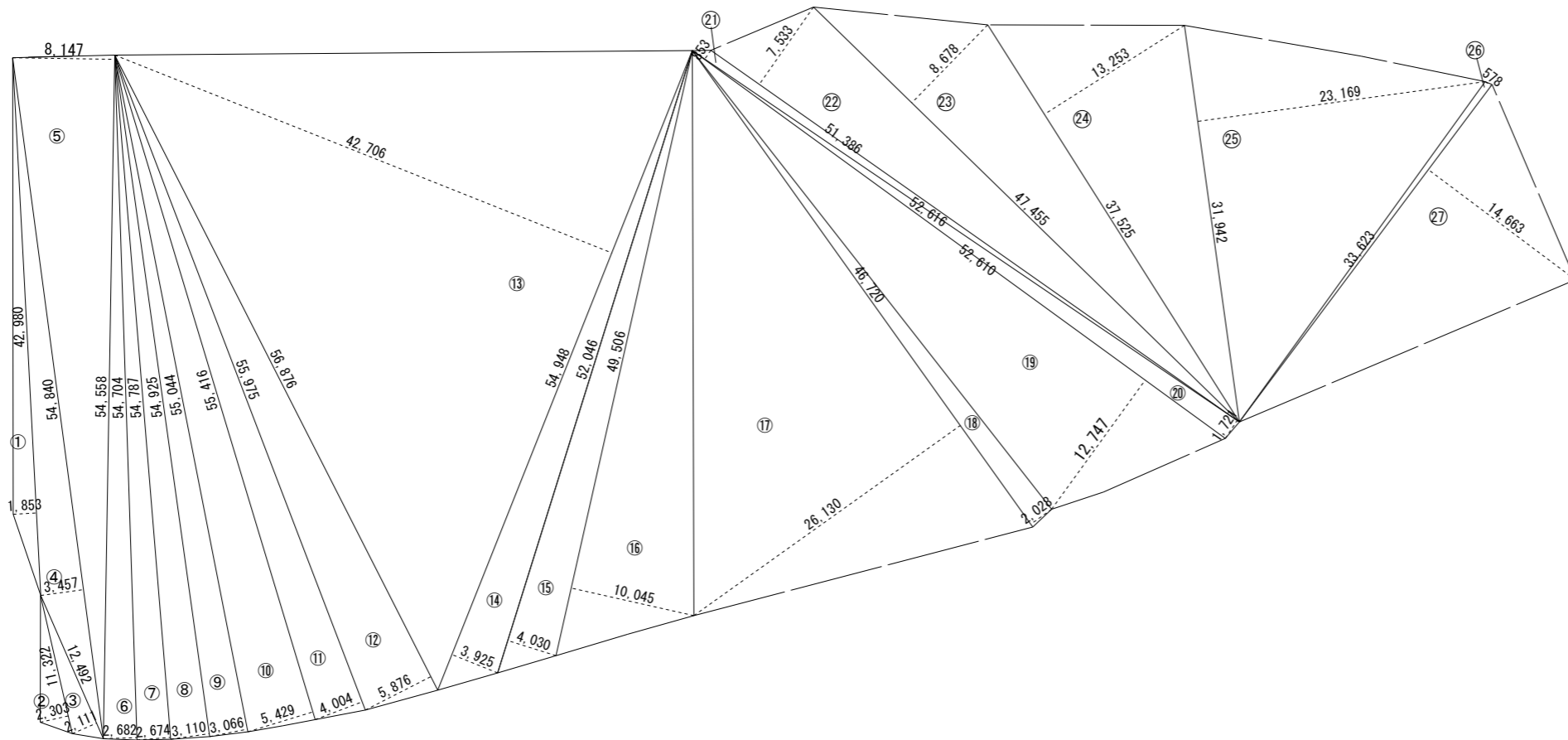
建築面積 : a = 844.56㎡  
1階床面積 : a = 844.56㎡  
2階床面積 : b = 42.00㎡  
延べ床面積 : 886.56㎡

	富永建築設計事務所 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 1級建築士登録 第211472号 富永隆司		東城ストックヤード施設 新築工事	縮尺	設計	図面番号
				求積図	S:1/200	R7・3	A-7



敷地配置図 1/500

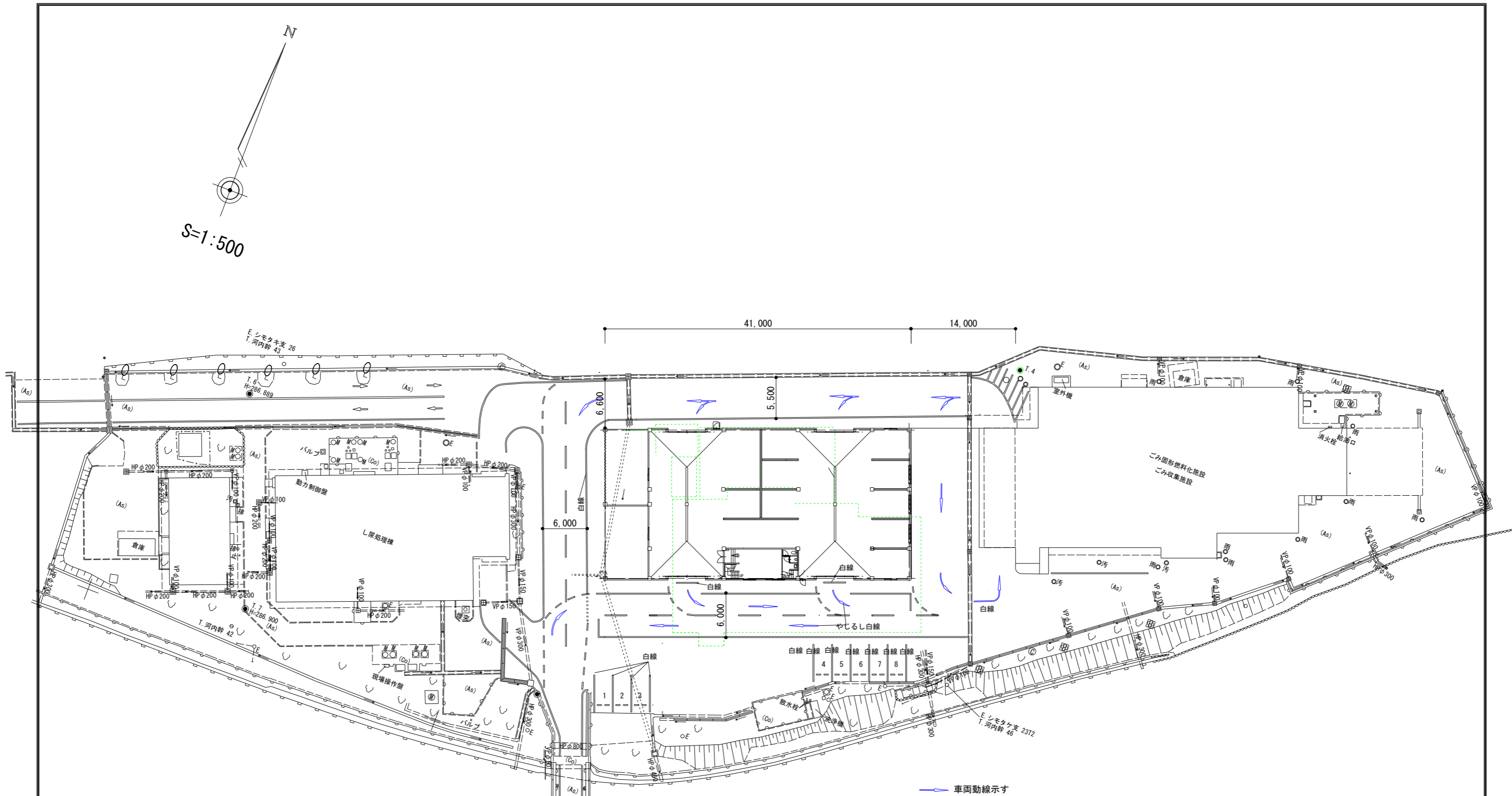
	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 1級建築士登録 第211472号 富永隆司	富永	東城ストックヤード施設 新築工事		縮尺	設計	図面番号
				敷地配置図		S:1/500	R7・3	A-8



求積表

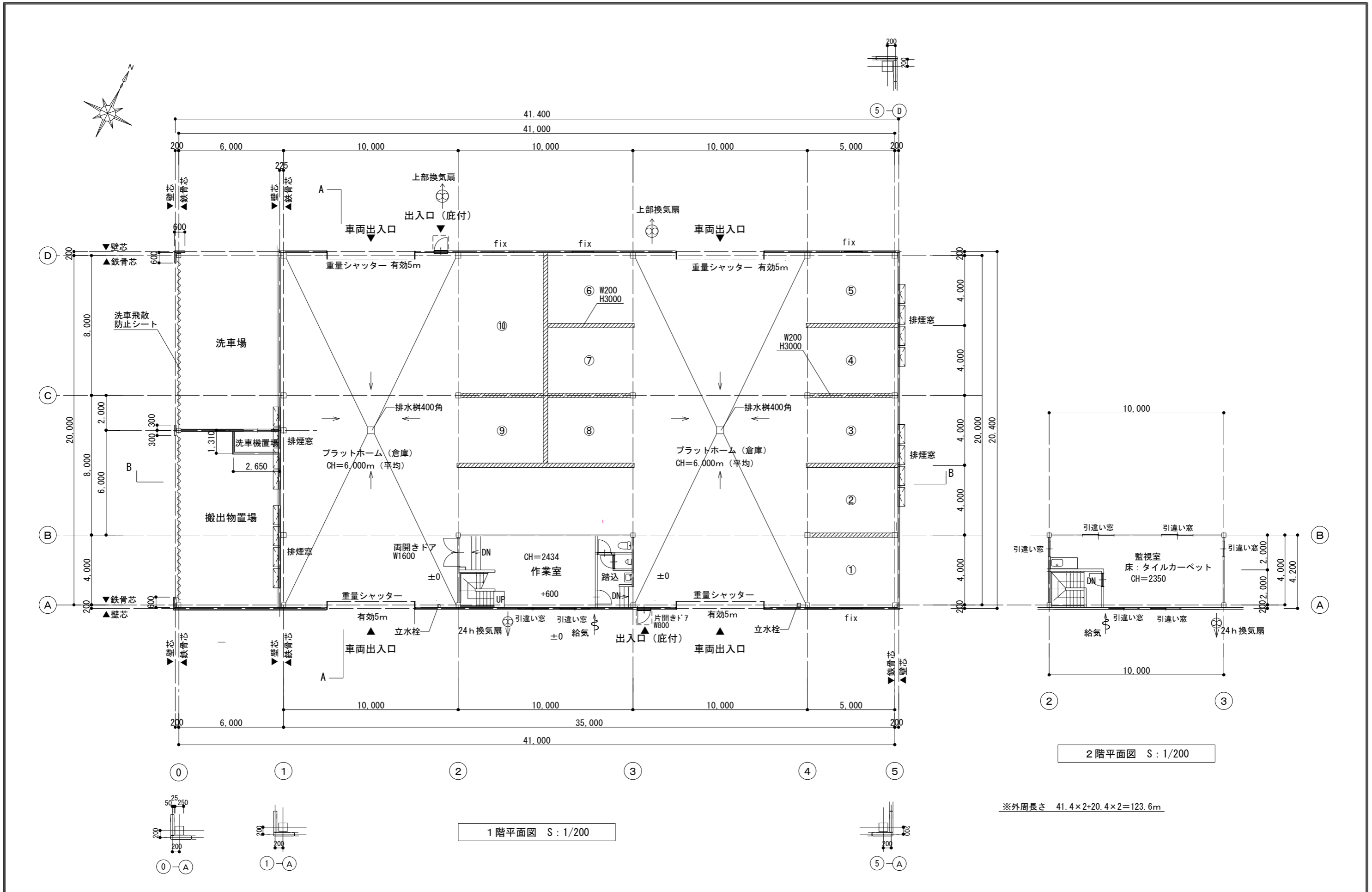
符号	底辺	高さ	倍面積
①	42.980	1.853	79.641940
②	11.322	2.303	26.074566
③	12.492	2.111	26.370612
④	54.840	3.457	489.581880
⑤	54.558	8.147	444.484026
⑥	54.704	2.682	146.716128
⑦	54.787	2.674	146.500438
⑧	54.925	3.110	170.816750
⑨	55.044	3.066	168.764904
⑩	55.416	5.429	300.853464
⑪	55.975	4.004	224.123900
⑫	55.876	5.876	328.327376
⑬	54.948	42.706	2346.609288
⑭	54.948	3.925	215.670900
⑮	52.046	4.030	209.745380
⑯	49.506	10.045	497.287770
⑰	46.720	26.130	1220.793600
⑱	46.720	2.028	94.748160
⑲	52.610	12.747	670.619670
⑳	52.616	1.721	90.552136
㉑	52.616	0.853	44.881448
㉒	51.386	7.533	387.090738
㉓	47.455	8.678	411.814490
㉔	37.525	13.253	497.318825
㉕	31.942	23.169	740.064198
㉖	33.623	0.578	19.434094
㉗	33.623	14.663	493.014049
合計			10191.90073
× 1/2			5095.950365
敷地面積 (㎡)			5095.95

敷地面積求積図 1/500

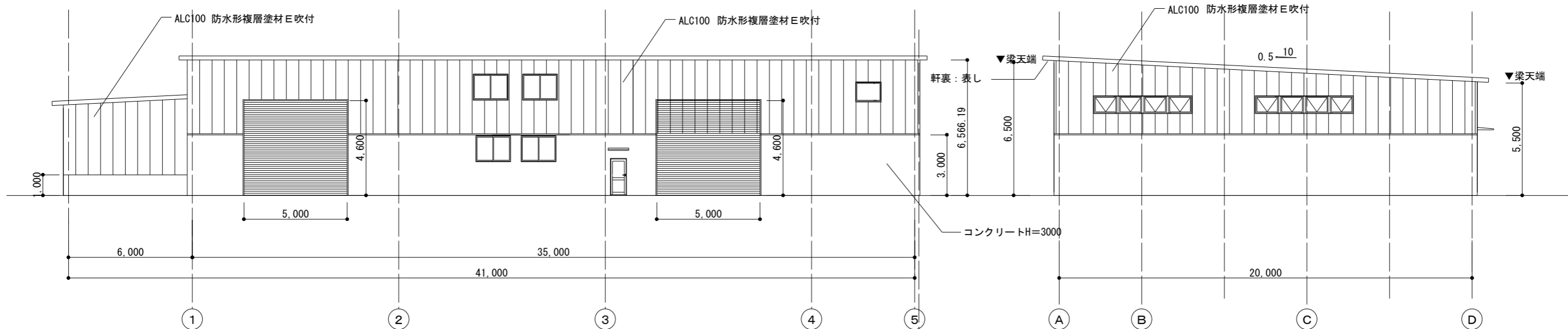


全体平面計画図 1/500

	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士登録 第211472号 富永隆司	東城ストックヤード施設 新築工事	縮尺	設計	図面番号
				S:1/500	R7・3	A-10

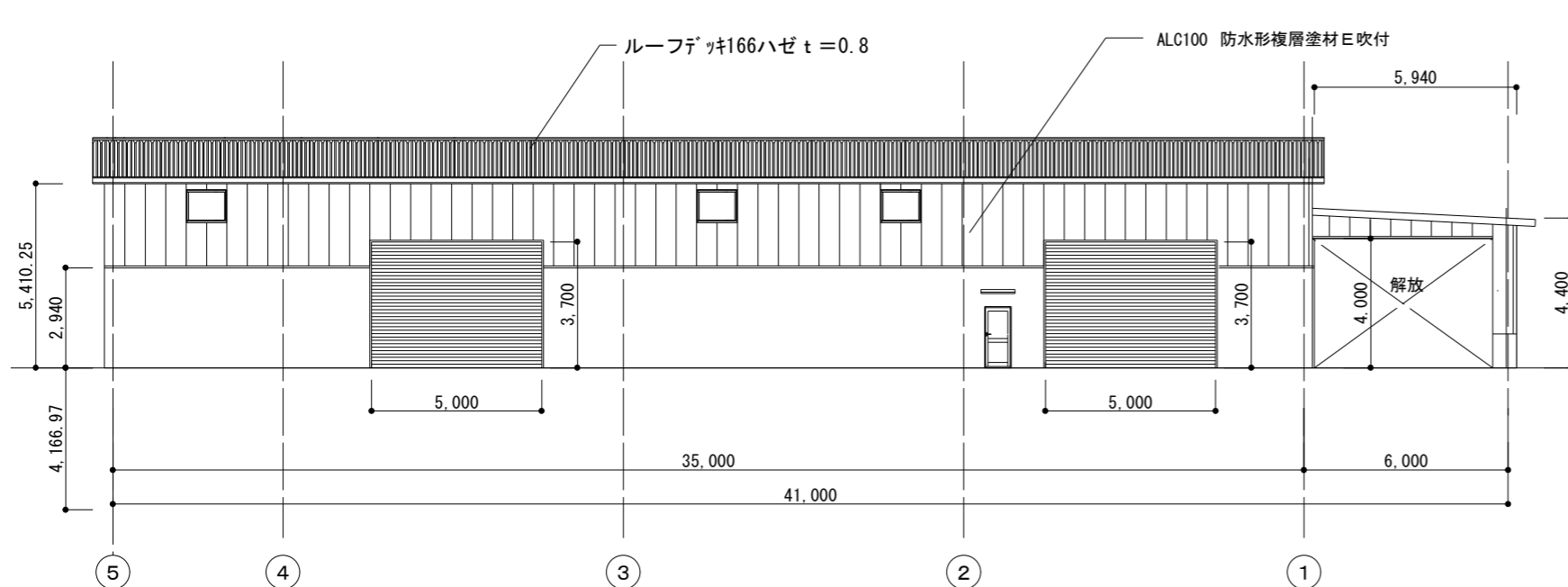


	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 1級建築士登録 第211472号 富永隆司	東城ストックヤード施設 新築工事	縮尺	設計	図面番号
				S:1/200	R7・3	A-11
				平面図		

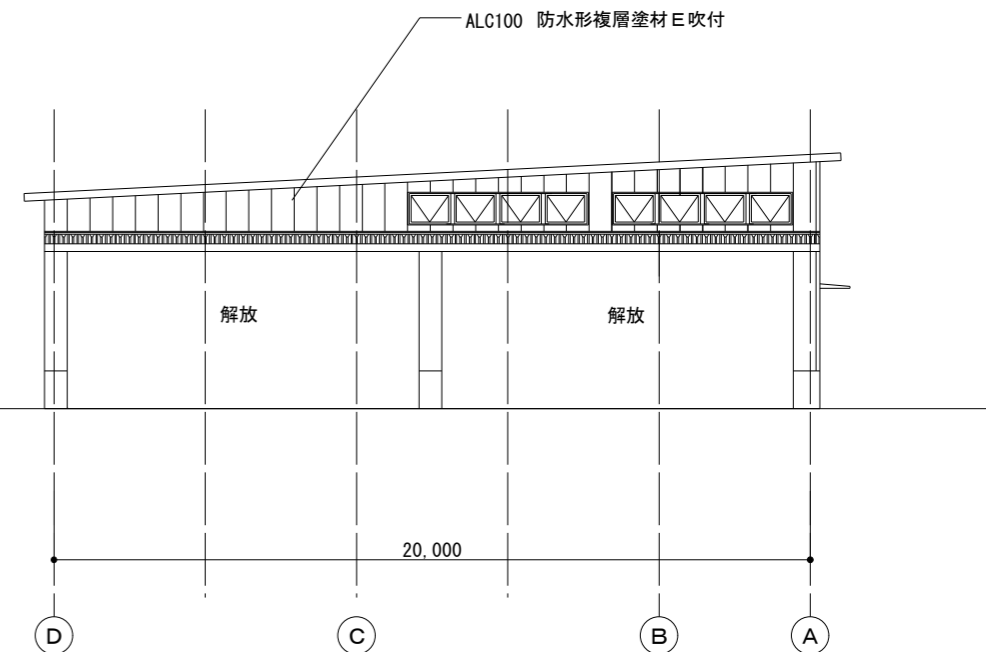


南立面図 S : 1/200

東立面図 S : 1/200



北立面図 S : 1/200



西立面図 S : 1/200

富永建築設計事務所 1級建築士事務所  
登録番号 23(1)4914号  
広島県庄原市川手町276-1 1級建築士登録  
TEL 0824-72-6669 第211472号 富永隆司

東城ストックヤード施設 新築工事

縮尺

設計

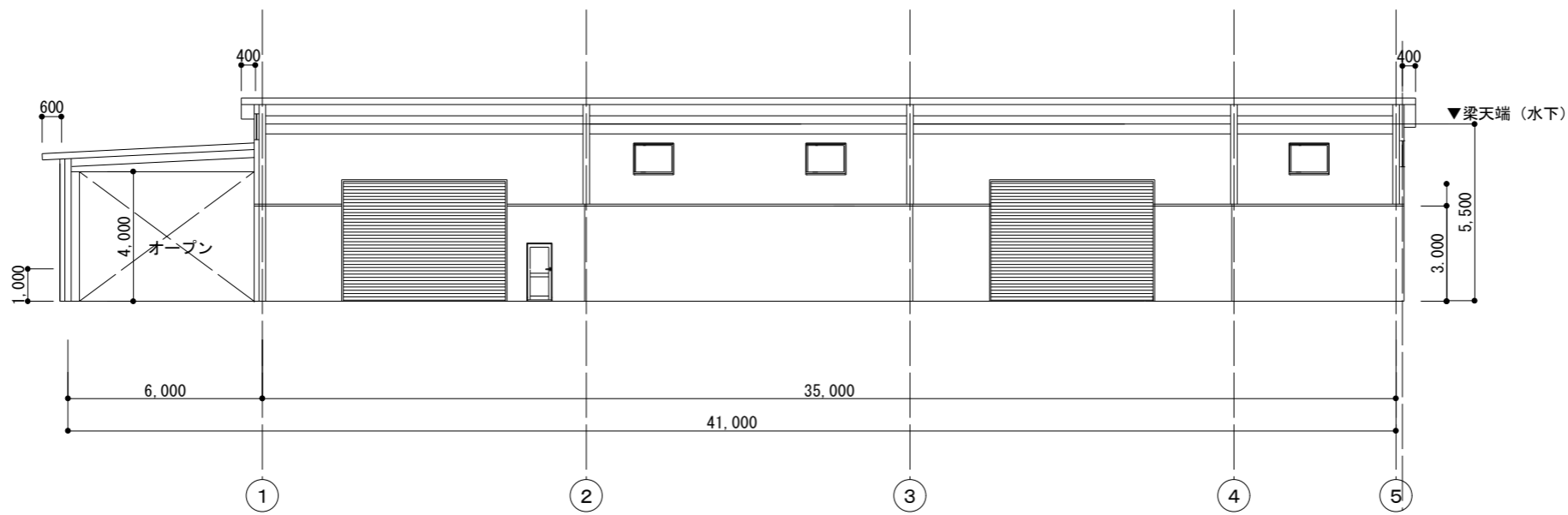
図面番号

立面図

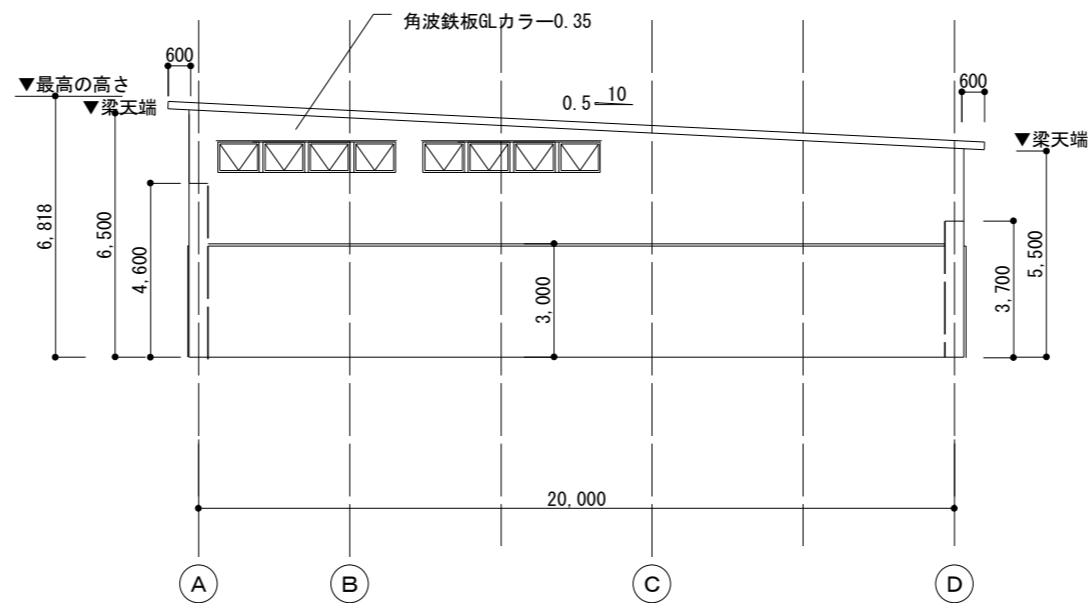
S:1/200

R7・3

A-12

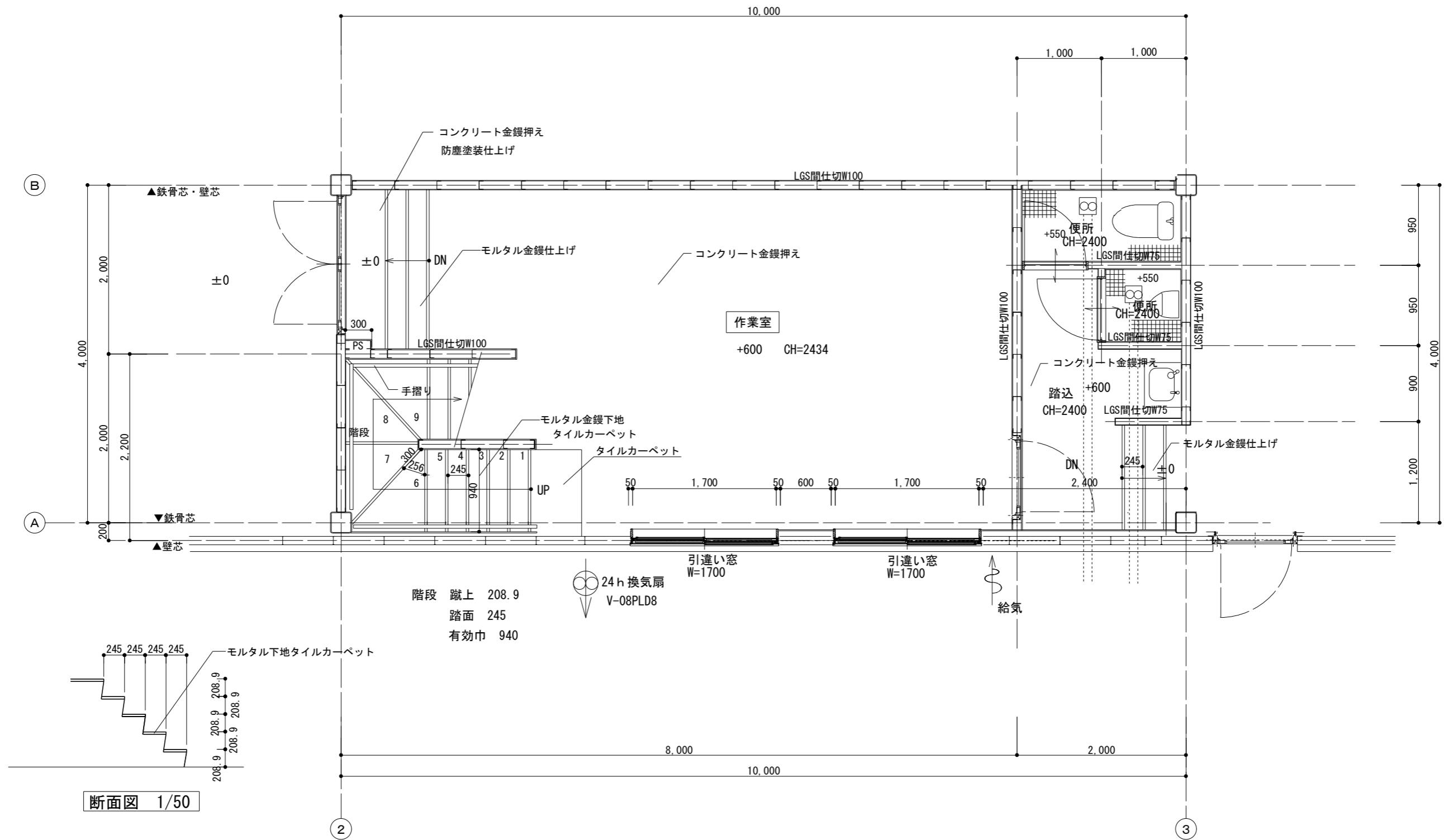


B-B断面図 1/200

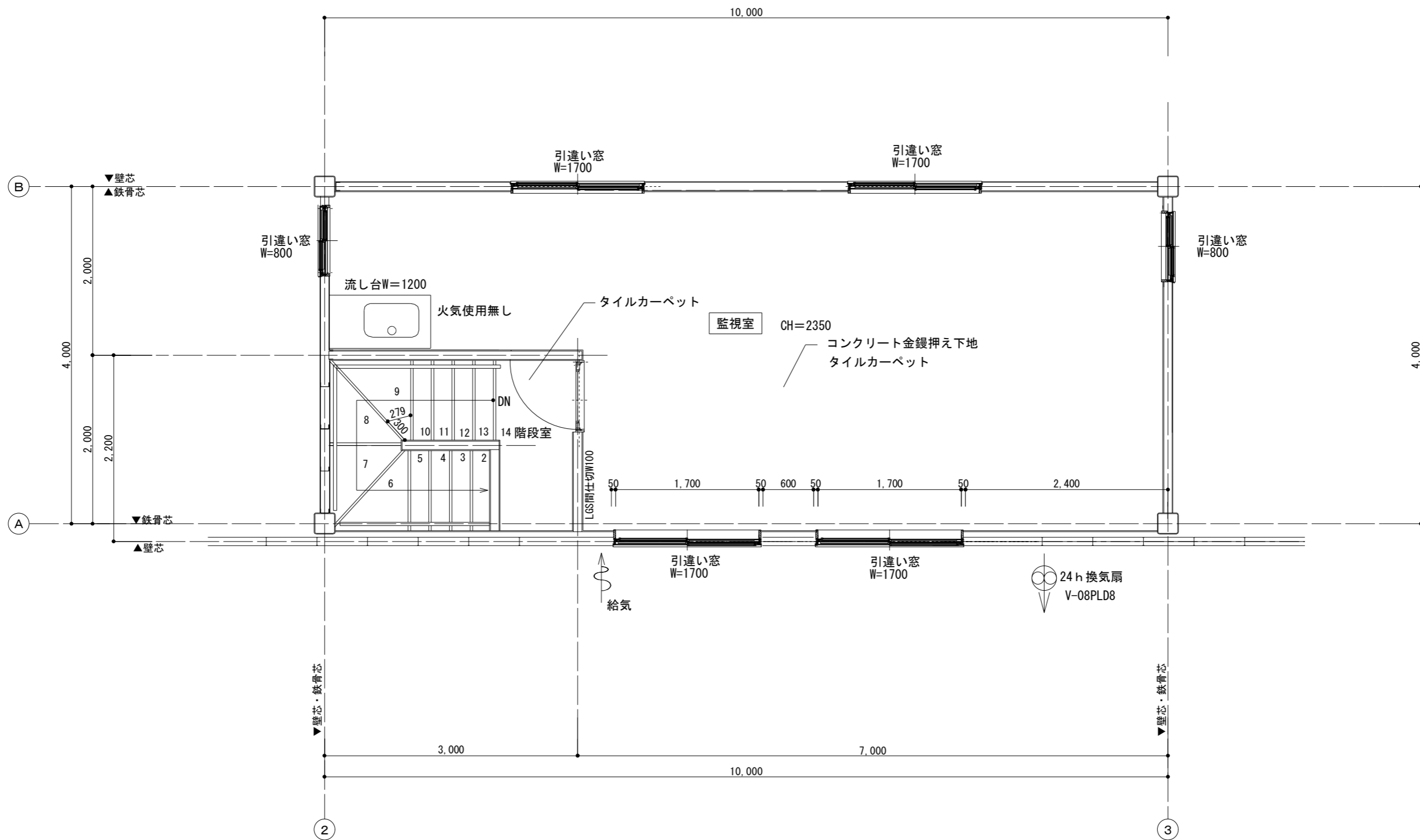


A-A断面図 1/200

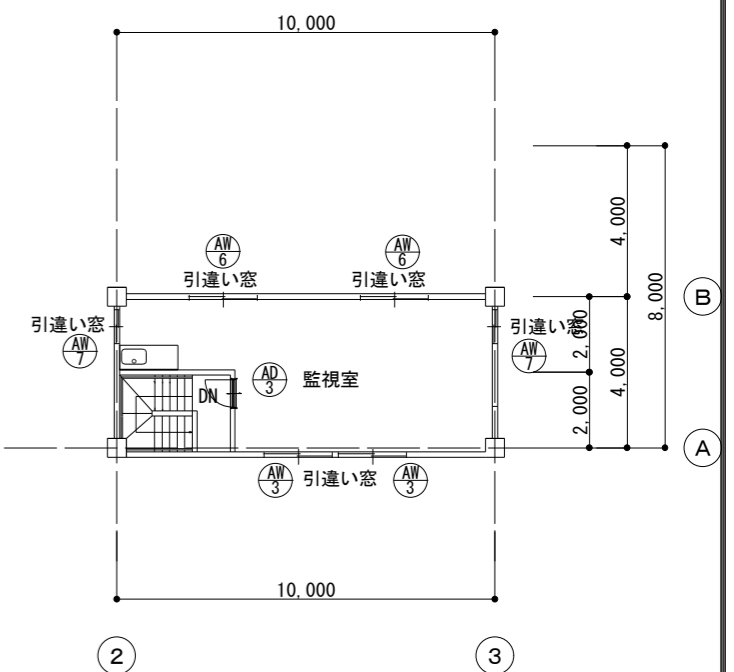
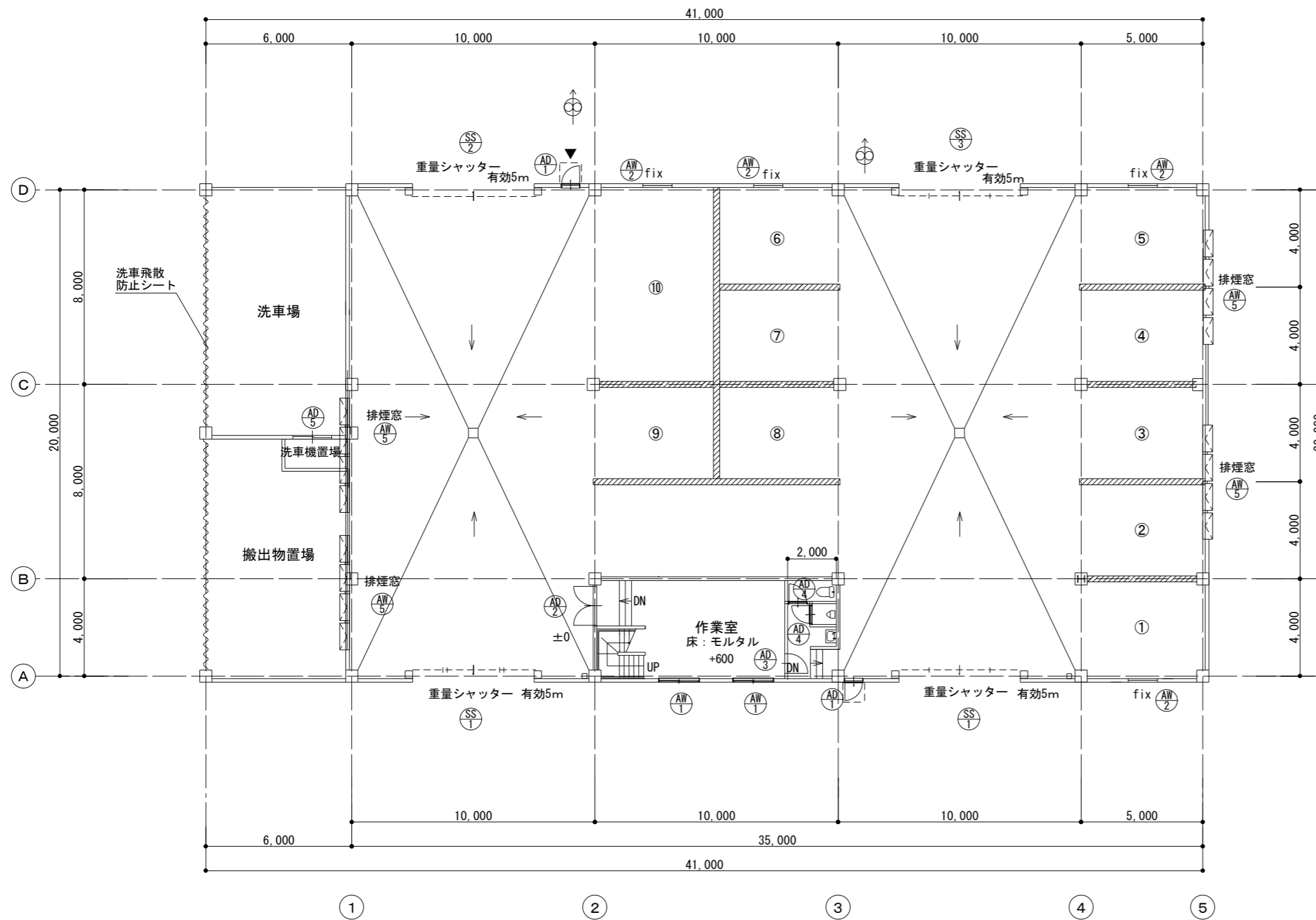
	富永建築設計事務所 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 1級建築士登録 第211472号 富永隆司	東城ストックヤード施設 新築工事	縮尺	設計	図面番号
				S:1/200	R7・3	A-13
				断面図		




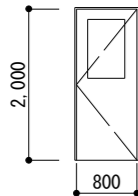
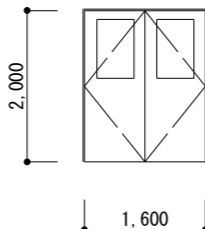
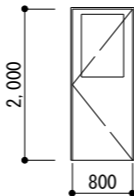
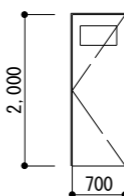
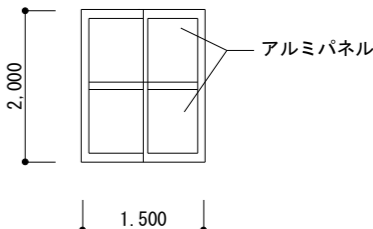
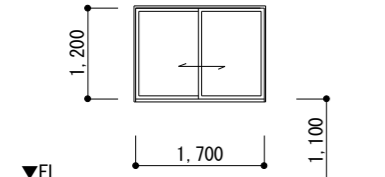
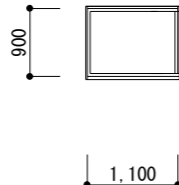
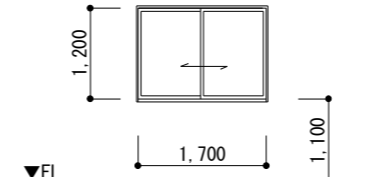
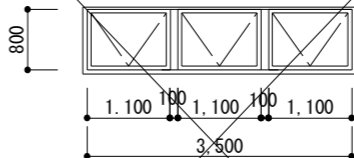
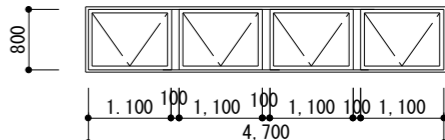
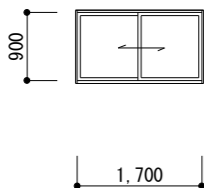
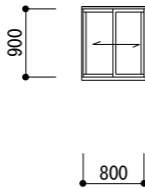
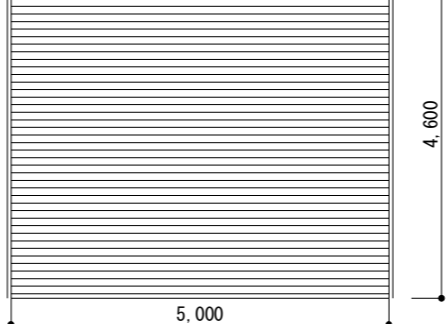
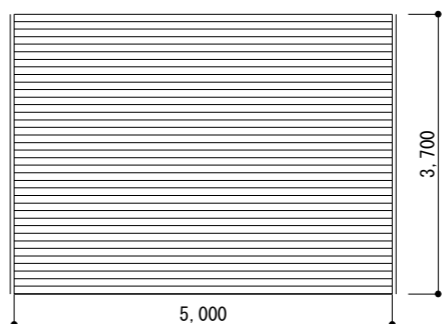
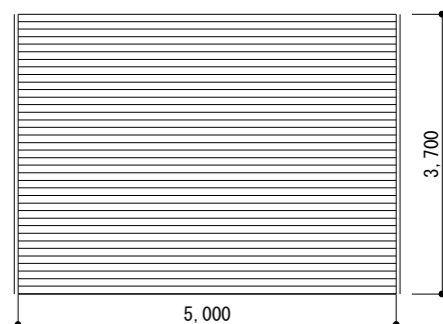
	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士登録 第211472号 富永隆司	東城ストックヤード施設 新築工事	縮尺	設計	図面番号
				S:1/50	R7・3	A-14



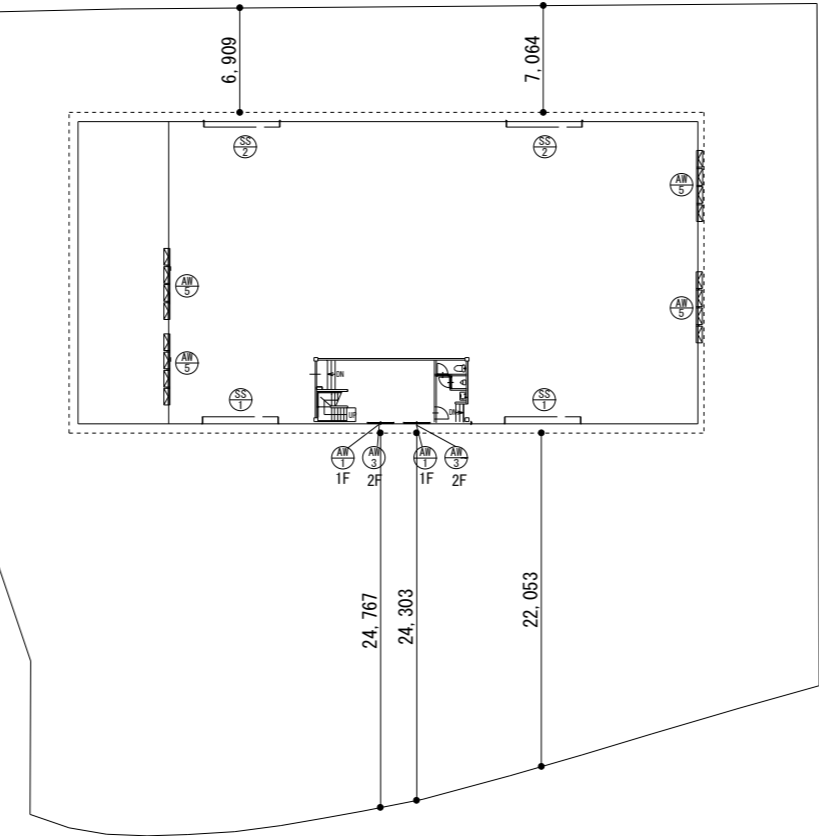
	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士登録 第211472号 富永隆司	東城ストックヤード施設 新築工事	縮尺	設計	図面番号
				S:1/50	R7・3	A-15
				平面詳細図 2		



	<b>富永建築設計事務所</b> 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669 1級建築士登録 第211472号 富永隆司 		東城ストックヤード施設 新築工事	縮尺	設計	図面番号
			建具配置図	S:1/200	R7・3	A-16

AD1		1 階外部入り口		片開き戸		2		AD2		作業室		両開き戸		1		AD3		作業室、監視室		片開き戸		2		AD4		便所		片開き戸		2		AD5		洗濯機入れ		引違戸		1											
																																																	
材質		アルミ						材質		アルミ						材質		アルミ						材質		アルミ																							
見込		ガラス		70 （扉40） 網入り板ガラス t=6.8				見込		ガラス		70 （扉40） 網入り板ガラス t=6.8				見込		ガラス		70 （扉40） 網入り板ガラス t=6.8				見込		ガラス		70 （扉40） 型板 t=4				見込		ガラス		70 （扉40） アルミパネル													
金物		DC、シリンダー錠、レバーハンドル						金物		DC、シリンダー錠、レバーハンドル						金物		表示錠、レバーハンドル						金物		堀込引手、シリンダー錠																							
		SUS沓摺、付属金物一式								付属金物一式								付属金物一式								レール 付属金物一式																							
その他								その他								その他								その他																									
AW1		1階作業室				引違窓		2		AW2		プラットホーム				FIX		4		AW3		2階監視室				引違窓		2		AW4		プラットホーム				外倒し窓		1		AW5		プラットホーム				外倒し窓		4	
																																																	
材質		アルミ						材質		アルミ						材質		アルミ						材質		アルミ																							
見込		ガラス		70 透明5.0mm				見込		ガラス		70 透明5.0mm				見込		ガラス		70 透明5.0mm				見込		ガラス		70 透明5.0mm				見込		ガラス		70 透明5.0mm													
金物		アルミ額縁、SUS網戸、アルミ水切り						金物		アルミ額縁、SUS網戸、アルミ水切り						金物		アルミ額縁、SUS網戸、アルミ水切り						金物		アルミ額縁、アルミ水切り																							
		付属金物一式								付属金物一式								付属金物一式								付属金物一式																							
その他								その他								その他		排煙用オペレーター（操作位置FL+1500）						その他		排煙用オペレーター（操作位置FL+1500）																							
AW6		2階監視室				引違窓		2		AW7		2階監視室				引違窓		2		SS1		重量電動シャッター				2		SS2		重量電動シャッター				1		SS3		重量電動シャッター				1							
																																																	
材質		アルミ						材質		アルミ						材質		スチール						材質		スチール																							
見込		ガラス		70 透明5.0mm				見込		ガラス		70 透明5.0mm				見込		ガラス		—				見込		ガラス		—																					
金物		アルミ額縁、SUS網戸、アルミ水切り						金物		アルミ額縁、SUS網戸、アルミ水切り						金物		障害物検知装置 SUS座板（ゴム付き）						金物		障害物検知装置 SUS座板（ゴム付き）																							
										SUSガイドレール SUSまぐさ スチール3方枠								SUSガイドレール SUSまぐさ スチール3方枠								SUSガイドレール SUSまぐさ スチール3方枠																							
その他								その他								その他		水圧式開閉装置						その他																									

	富永建築設計事務所	1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号		東城ストックヤード施設 新築工事	縮尺	設計	図面番号
	広島県庄原市川手町276-1	1級建築士登録 第211472号 富永隆司		建具表	S:1/100	R7・3	A-17
	TEL 0824-72-6669						



シックハウス対策（Ⅱ）

		床面積	天井高	気積
1F	作業室	33.60	2.434	81.7824
	階段室	6.60	5.558	36.6828
	合計			118.4652
	× 1/2			59.24

24時間換気扇 V-08PLD8 (75m3/h)

2F		床面積	天井高	気積
	監視室	29.40	2.350	69.09
	合計			69.09
	× 1/2			34.55

24時間換気扇 V-08PLD8 (75m3/h)

シックハウス対策（Ⅲ）

（天井裏等への措置）

天井裏等（小屋裏、床裏、外壁、間仕切壁、収納等）  
の仕様材料は全てF☆☆☆☆とする。

（建材等への措置）

全てF☆☆☆☆とする。

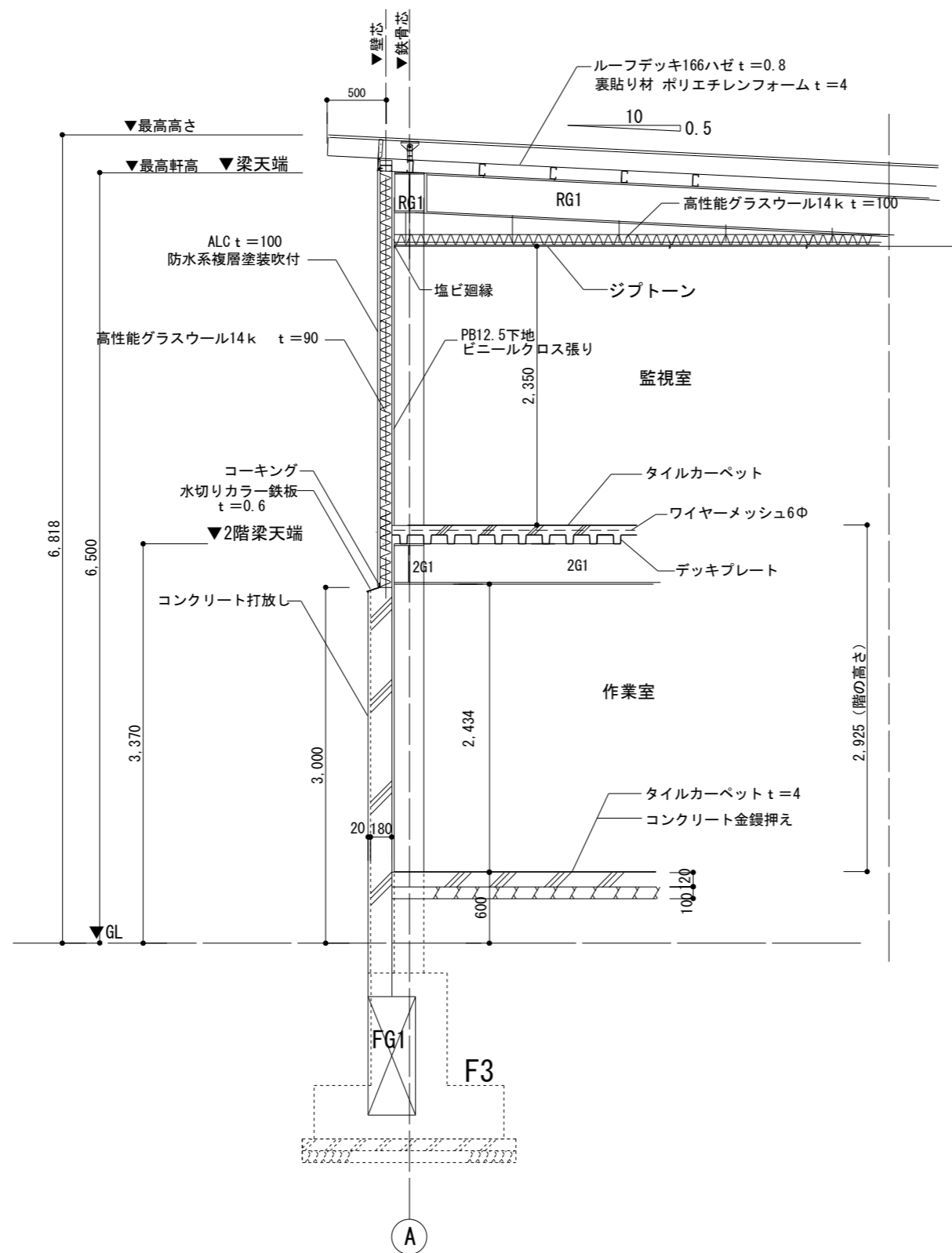
採光・換気チェック

		採光		換気		排煙	
		必要	有効	必要	有効	必要	有効
1F	プラットフォーム (680.16㎡)	34.01	SS1 5.0×4.6×2ヶ所 SS2 5.0×3.7×2ヶ所 $\bigcup$ 83.00	34.01	SS1 5.0×4.6×2ヶ所 SS2 5.0×3.7×2ヶ所 $\bigcup$ 83.00	13.60	AW5 1.1×0.8×4×4ヶ所＝14.08
	作業室 (33.60㎡)	1.68	AW1 1.7×1.2×3×2ヶ所＝12.24	1.68	AW1 1.7×1.2÷2×2ヶ所＝2.04	0.68	AW1 1.7×0.666÷2×2ヶ所＝1.13
2F	監視室 (35.40㎡)	1.77	AW3 1.7×1.2×3×2ヶ所＝12.24	1.77	AW3 1.7×1.2÷2×2ヶ所＝2.04	0.71	AW4 1.7×0.75÷2×2ヶ所＝1.27

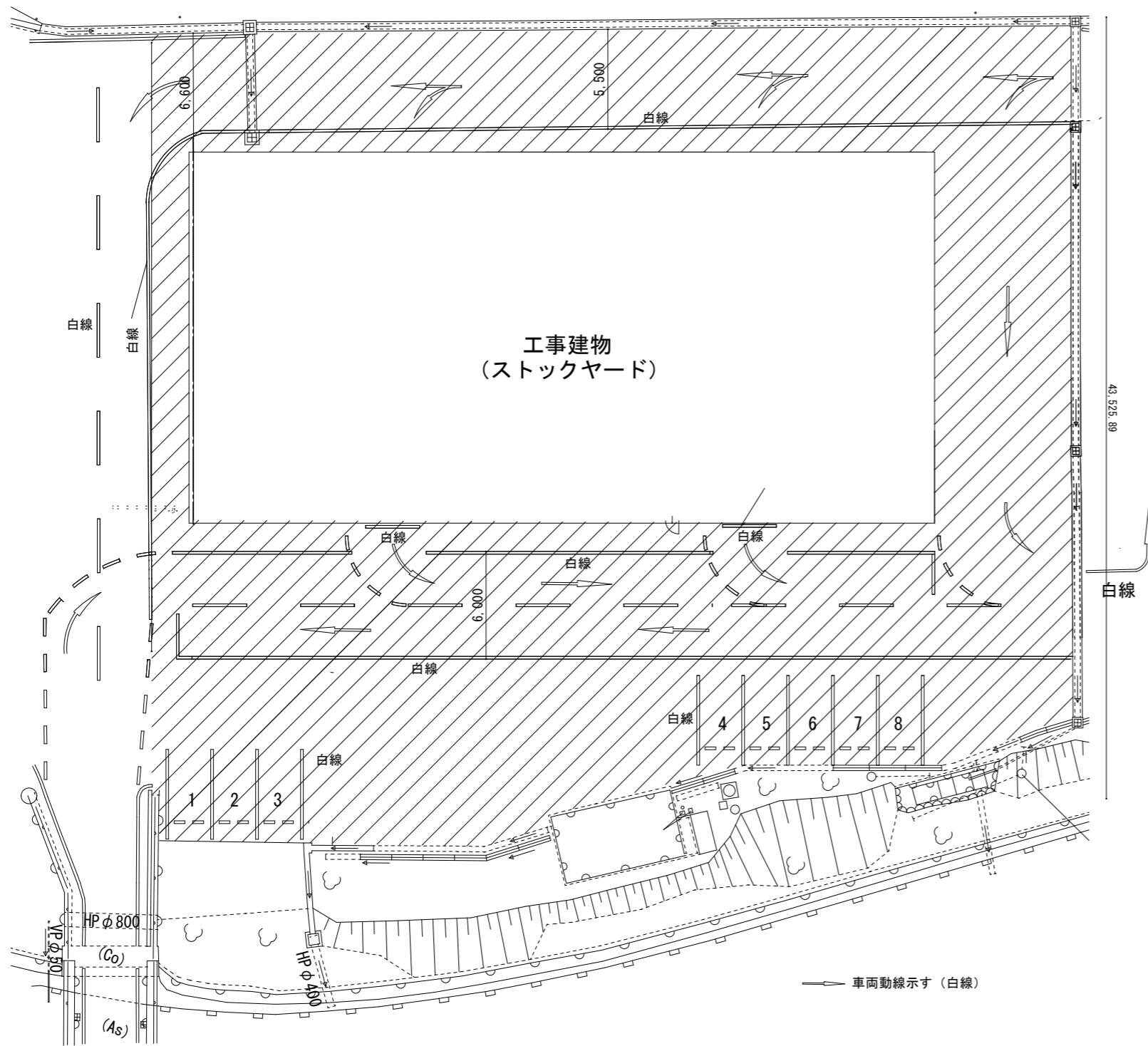
※採光補正係数 全て3.0

1階作業室  
8.00×4.20=33.60  
2階監視室  
10.00×4.20—3.00×2.20=35.40  
プラットフォーム  
35.40×20.40—10.00×4.20=680.16

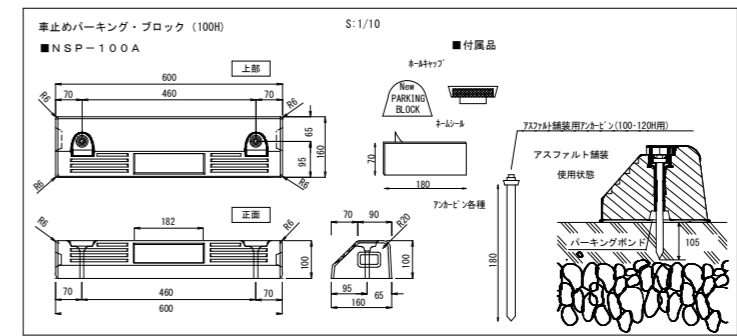
	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669		東城ストックヤード施設 新築工事	縮尺	設計	図面番号
				法規チェック	S:1/500	R7・3
						A-18



	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士登録 第211472号 富永隆司		東城ストックヤード施設 新築工事	縮尺	設計	図面番号
				断面詳細図	S:1/50	R7・3	A-19



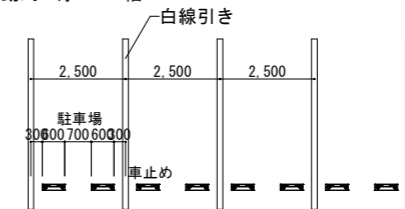
敷地配置図 1/300



車止め詳細図 1/20

駐車場区画線・構内ライン・矢印ライン

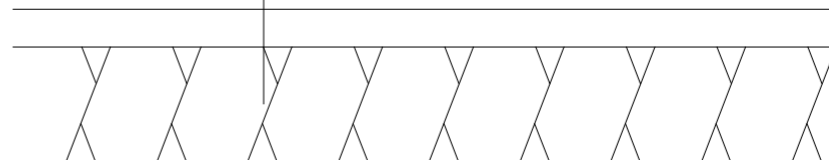
白線引き 溶融手動式 厚2.0 幅150



アスファルト舗装

舗装部分

アスファルト舗装  
厚50 再生密粒度アスコン  
プライムコート PK-3  
厚150 路盤材 クラッシャーラン RC-40



富永建築設計事務所 1級建築士事務所  
登録番号 23(1)4914号  
広島県庄原市川手町276-1  
TEL 0824-72-6669  
1級建築士登録  
第211472号 富永隆司



東城ストックヤード施設 新築工事

外構図

縮尺

S:1/300  
S:1/20

設計

R7・3

図面番号

A-20

建物概要等

1. 構造概要

2. 構造設計条件等

3. 地盤調査資料

4. 液状化対策

構造概要

			備考
構造種別	地上 ( ) 階～( 2 ) 階( 鉄骨 ) 造 ( ) 階～( ) 階( ) 造	地下 ( ) 階～( ) 階( ) 造 ( ) 階～( ) 階( ) 造	
架構形式	X方向 ( ラーメン ) 構造 Y方向 ( ラーメン ) 構造		
耐震構造	○耐震構造 ・制振構造 ・免震構造(免震層の位置 ・基礎下免震 ・中間階免震( ) 階		
基礎方式	○直接基礎(○独立 ・連続 ・べた ・ ) ・杭基礎(・場所打ちコンクリート杭 ・既製コンクリート杭 ・鋼管杭 ・ )	適用箇所は ( )	
耐震安全性の分類	・Ⅰ類(1.5) ・Ⅱ類(1.25) ○Ⅲ類(1.0)		
耐風に関する性能の分類	・Ⅰ類(1.3) ・Ⅱ類(1.15) ○Ⅲ類(1.0)		

計算方法

	X方向	Y方向	備 考
許容応力度計算 (令第82条各号+令第82条の4) 【ルート1】	・	・	
許容応力度等計算 【ルート2】	○	○	
保有水平耐力計算 【ルート3】	・	・	X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する
限界耐力計算			
その他の計算法( )		・	
構造計算適合性判定機関 ( )			
特別な検証法(時刻歴応答解析による)		・	
大臣認定(認定番号 )			
指定性能評価機関 ( )			
評価 ・高層評価 ・免震評価 ・その他 (評価番号 )			

外力等

			備考
地震力	設計用一次固有周期 ( 0.6 ) 秒		
	地震地域係数(Z) Z= ・1.0 ○0.9 ・0.8 ・0.7		
	地盤の種別 第( 2 ) 種地盤 Tc=( 0.6 ) 秒		
	標準せん断力係数 X方向 Y方向		
	一次設計 C0=( 0.2 ) C0=( 0.2 ) 二次設計 C0=( ) C0=( )		
風圧力(施行令第87条)	地表面粗度区分 基準風速(V0) 速度圧(q) ・Ⅰ・Ⅱ○Ⅲ・Ⅳ ( 30 )m/s	738	
風圧力(施行令第82条の4)	地表面粗度区分 基準風速(V0) 平均速度圧(q) ・Ⅰ・Ⅱ○Ⅲ・Ⅳ ( 30 )m/s		
積雪荷重	区域 ○多雪区域以外 (特定緩勾配屋根・有○無		
	設計垂直積雪量 ( 41 )cm		
	単位荷重 ( 920 )N/m <sup>2</sup> 垂直積雪量の低減 ・低減する ○低減しない		

※当該敷地の既往調査報告書  
○構造図による

・有り  
(範囲・工法・仕様・計測・試験等については構造図を参照)  
○無し

構造関係共通事項 (共通事項)

横-1  
総則

1.1 適用範囲

(1) 構造関係共通事項(配筋標準図)は鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立等の一般的な標準図とする。  
(2) 構造関係共通事項(鉄骨標準図)は鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄骨の加工、組立の一般的な標準図とする。  
(3) 建築構造図に特記無き事項は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 令和4年度版による。

1.2 用語の定義

(1) 構造図とは、建築構造図のうち構造関係共通事項以外を図をいう。  
(2) 異形鉄筋の径(本文、図、表において「D、d」で示す)は、呼び名に用いた数値とする。  
(3) 長さ、厚さ等の単位は、特記なき限りmmとする。

1.3 優先順位

設計図書の図面のうち建築構造図に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。  
1. 構造図及び構造関係共通事項(共通事項)  
2. 構造関係共通事項(配筋標準図)、構造関係共通事項(鉄骨標準図)

1.4 記号等

図面で使用する記号等は表1～表4を標準とする。

表1 異形鉄筋の断面表示記号

区分	径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建築		○	×	∅	○	○	⊙	⊗	⊙

表2 各階伏図における記号

記号	説明	記号	説明
⊗ S	スラブの配筋種別	⊕	杭の位置
◇	スラブ厚さ	⊕	試験杭の位置
○	階段の配筋種別	▨	打増しの範囲
⊗ D	土間コンクリート	⊗	スラブ開口
▮	コンクリートブロック壁(ＣＢ壁)	⊕	ボーリング位置
▨	梁・スラブの上がり下がり範囲	(±)	FLからの上がり下がり
EW○○ EW○○ ER○○	耐力壁 片持ちスラブ階段を受け、かつ耐力壁 土圧を受け、かつ耐力壁		

表3 梁貫通孔記号

区分	径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400
建築		⊖	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕

表4 スリーブ材質の凡例

管 名	鋼 管	溶融亜鉛めっき鋼板	硬質塩化ビニル管(薄肉管)	つば付き鋼管(黒管)
記号(建築用)	SP(白管)	GA	VU	RS

※建築用以外のスリーブ材質は各工事による。

構造関係共通事項(配筋標準図)

1.1 鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直径は、表1.1を標準とする。

表1.1 鉄筋の折曲げ内法直径

折曲げ角度	折曲げ図(余長)	鉄筋の種類	折曲げ内法直径(D)		
			SD295、SD345	SD390	
		呼び名	D16以下	D19～D38	D19～D38
180°			3 d 以上	4 d 以上	5 d 以上
135°					
90°					
135°及び90°(幅止め筋)					

1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90° フック又は135° フックを用いる場合は、余長は4 d 以上とする。  
2. 90° 未満の折曲げの内法直径は構造図による。

2.1 異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。  
(1) 柱及び梁(基礎梁を除く)の出隅部

図2.1 末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋(●印)

(2) 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)  
(3) 杭基礎のベース筋  
(4) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

3.1 継手及び定着

(a) 鉄筋の重ね継手

(1) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。  
(2) 柱及び梁の主筋並びに耐力壁を除く鉄筋の重ね継手の長さは、表3.1による。

表3.1 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> )	L1 (フックなし)	L1h (フックあり)
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24、27	35d	25d
	30、33、36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24、27	40d	30d
	30、33、36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24、27	45d	35d
	30、33、36	40d	30d

(注) 1. L1、L1h：重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ  
2. フックありの場合のL1hは、図3.1Iに示すようにフック部分Qを含まない。  
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5 dを加えたものとする。

図3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

横-2  
施工方法等計画書関連等

1. コンクリートの単位水量測定

(1) 単位水量の測定は、150m<sup>3</sup>に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。  
(2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(f) (g)による。  
(3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。  
1) 測定した単位水量が、配合計画書の設計値(以下「設計値」という。)±15kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合は、その運搬車のレイディーミストコンクリート(以下「生コン」という。)を合格とし、そのまま打設する。  
2) 測定した単位水量が設計値±15を超え±20kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合は、その運搬車の生コンを合格とし打設してよいが、水量変動の原因を調査し、生コン生産者に改善を指示する。その後、設計値±15kg/m<sup>3</sup>以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。  
3) 測定した単位水量が設計値±20kg/m<sup>3</sup>を超える場合は、その運搬車の生コンを不合格とし、打設せずに持ち帰らせるとともに、水量変動の原因を調査し、生コン生産者に改善を指示する。その後、単位水量が設計値±20kg/m<sup>3</sup>以内になるまで全運搬車の測定を行い、更に設計値±15kg/m<sup>3</sup>以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。  
4) 3)により不合格となった生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。  
(4) 単位水量管理についての記録を書面(配合計画書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により監督職員に提出する。  
(5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は当該生コン生産者以外の機関とする。

(3) 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず4 0 d以上(軽量コンクリートの場合は5 0 d以上)又は表3.1の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。

(4) 隣り合う継手の位置は、表3.2による。  
ただし、スラブ筋でD16以下の場合及び壁筋の場合は除く。

表3.2 隣り合う継手の位置

重ね継手	フックありの場合	
	フックなしの場合	
ガス圧接継手	—	
機械式継手	—	

(b) 鉄筋の定着

(1) 鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。  
(2) 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の直線定着長さは、40d以上(軽量コンクリートの場合は50d以上)とする。

表3.3 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> )	直線定着の長さ				フックあり定着の長さ			
		L1	L2	L3	L3h	L1h	L2h	L3h	L3h
SD295	18	45d	40d	小梁 スラブ	35d	30d	小梁 スラブ		
	21	40d	35d		30d	25d			
	24、27	35d	30d		25d	20d			
	30、33、36	35d	30d		25d	20d			
SD345	18	50d	40d	20d 150mm 以上	35d	30d	10d	—	
	21	45d	35d		30d	25d			
	24、27	40d	35d		30d	25d			
	30、33、36	35d	30d		25d	20d			
SD390	21	50d	40d	小梁の場合 25 d	35d	30d	10d	—	
	24、27	45d	40d		35d	30d			
	30、33、36	40d	35d		30d	25d			

(注) 1. L1、L1h：2. から4. まで以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ  
2. L2、L2h：割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ  
3. L3：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁を除く。  
4. L3h：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ  
5. フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分Qを含まない。  
また、中間部での折曲げは行わない。  
6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5 dを加えたものとする。

図3.2 直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

(2) 梁主筋の柱内折曲げ定着又は小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の(i)、(ii)及び(iii)をすべて満足するものとする。  
(i) 全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上  
(ii) 余長は8 d以上とする。  
(iii) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さL a及びL bは表3.4Iに示す長さとする。  
ただし、梁主筋の柱内定着においては、柱せいの3/4倍以上とする。

図3.3 折曲げ定着の方法

富永建築設計事務所

1 級建築士事務所  
登録番号 23(1)4914号  
広島県庄原市川手町276-1  
TEL 0824-72-6669

1 級建築士登録  
第211472号 富永隆司

東城ストックヤード施設 新築工事

縮尺

設計

図面番号

特記仕様書-1

R7・3

S-1

表3.4 鉄筋の投影定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 $f_c$ (N/mm <sup>2</sup> )	L a	L b
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24、27	15d	15d
	30、33、36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24、27	20d	15d
	30、33、36	15d	15d
SD390	21	20d	20d
	24、27	20d	20d
	30、33、36	20d	15d

(注) 1. L a : 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ(基礎梁、片持梁及び片持スラブを含む。)

2. L b : 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ(片持小梁及び片持スラブを除く。)

3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5 dを加えたものとする。

(3) 溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。

なお、L 1は表3.1に、L 2及びL 3は表3.3による。

1節半以上、かつ、150mm以上

鉄筋

鉄筋

1節半以上、かつ、150mm以上

重ね継手

定着 (スラブの場合)

定着 (壁の場合)

図3.4 溶接金網の継手及び定着

(4) スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による

$\geq 6d$

d

$\geq 6d$

d

$\geq 6d$

d

$\geq 6d$

d

50d

$\geq 6d$

末端部 (柱頭又は柱脚部)

中間部 (重ね継手)

図3.5 スパイラル筋の継手及び定着

4.1 最小かぶり厚さ

(a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。

ただし、柱及び梁の主筋にD 2 9以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

構造部分の種類			最小かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり	20
		仕上げなし	30
	柱、梁、耐力壁	屋内 仕上げあり	30
		屋内 仕上げなし	30
		屋外 仕上げあり	30
屋外 仕上げなし	40		
土に接する部分	擁壁、耐圧スラブ	40	
	柱、梁、スラブ、壁	40	
	基礎、擁壁、耐圧スラブ	60	
煙突等高熱を受ける部分		60	

(注) 1. この表は、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。

また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。

2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ (仕上塗材、塗装等) のものを除く。

3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。

4. 杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは、杭先端からとする。

(b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに1 0mmを加えた数値を標準とする。

(c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

(d) 鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。

(1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍

(2) 2 5mm

(3) 隣り合う鉄筋の径の平均 (呼び名の数値) の1.5倍

間隔

あき

Dは、鉄筋の最大外径

図4.1 鉄筋相互のあき及び間隔

(e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。

(f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

5.1 基礎梁

(a) 一般事項

(1) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。

(2) 梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(b) (4)による。

図5.1 梁筋の基礎梁内への定着

(b) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。

$\geq 100$

継手長さ

$\geq 100$

継手長さ

$\geq 100$

継手長さ

$\geq 100$

継手長さ

(注) 1. 図示のない事項は、7.1による。

2. 印は、継手及び余長位置を示す。

3. 破線は、柱内定着の場合を示す。

4. 梁主筋のみ込み長さ (柱せいの3/4倍以上)

図5.2 主筋の継手、定着及び余長 (その1)

(c) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。

ただし、耐圧スラブが付く場合は、(d)による。

$\geq 100$

継手長さ

$\geq 100$

継手長さ

$\geq 100$

継手長さ

$\geq 100$

継手長さ

(注) 1. 図示のない事項は、7.1による。

2. 印は、継手及び余長位置を示す。

3. 破線は、柱内定着の場合を示す。

4. 梁主筋のみ込み長さ (柱せいの3/4倍以上)

図5.3 主筋の継手、定着及び余長 (その2)

(d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。

$\geq 15d$  (余長)

継手長さ

$\geq 15d$  (余長)

継手長さ

$\geq 15d$  (余長)

継手長さ

$\geq 15d$  (余長)

継手長さ

(注) 1. 図示のない事項は、7.1による。

2. 印は、継手及び余長位置を示す。

3. 破線は、柱内定着の場合を示す。

4. 梁主筋のみ込み長さ (柱せいの3/4倍以上)

図5.4 主筋の継手、定着及び余長 (その3)

5.2 基礎梁のあばら筋等

(a) 一般事項

(1) あばら筋の径および間隔は、構造図による。

(2) あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(b)による。

ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5にすることができる。

一般の場合

重ね継手とする場合

図5.5 あばら筋組立の形及びフックの位置

(b) 腹筋及び幅止め筋は、7.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は構造図による。

(c) あばら筋の割付けは、7.2(c)による。

6.1 柱

(a) 一般事項

(1) 継手中心位置は、梁上端から500mm以上、1,500mm以下、かつ、 $3h_o/4$  ( $h_o$ は柱の内法高さ) 以下とする。

(2) 継手、定着及び余長は、図6.1による。

ただし、柱頭定着長さL 2が確保できない場合は、構造図による。

500以下

500以上、かつ、1,500以下

$\leq 3h_o/4$

$h_o/2+15d$

$\geq 150$

$\geq 150$

継手

定着

ガス圧接を例で示す

重ね継手を例で示す

(注) 1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上層の柱頭にある場合には、フックを付ける。

2. 隣り合う継手の位置は、表3.2 [隣り合う継手の位置] による。

3. 継手及び定着は、すべての隅に適用できる。

図6.1 柱主筋の継手、定着及び余長

(b) 柱打増し部

(1) 打増し部分に、壁、梁、スラブ等がとりつく場合の壁、梁、スラブ筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。

(2) 土に接する柱隅部の打増しは図6.2による。

図6.2 柱打増し部

図6.3 帯筋組立の形

(c) フック及び継手の位置は交互とする。

(d) 帯筋の割付けは図6.4とし、それ以外の場合は構造図による。

図6.4 帯筋の割付け

(注) 1. 柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P ②または1.5P ③とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。

2. 図中のP ②、P ③は、特記された帯筋の間隔を示す。

図6.2 柱打増し部

図6.3 帯筋組立の形

(c) フック及び継手の位置は交互とする。

(d) 帯筋の割付けは図6.4とし、それ以外の場合は構造図による。

図6.4 帯筋の割付け

(注) 1. 柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P ②または1.5P ③とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。

2. 図中のP ②、P ③は、特記された帯筋の間隔を示す。

7.1 大梁

(a) 一般事項

(1) 梁の上がり下がり、FLを基準とした寸法値とする。

(2) 地中梁下の砂利地床厚及び捨てコンクリート地床厚は構造図による。

(3) 打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合のスラブ、壁、梁筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。

(b) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項

(1) 継手中心位置は、次による。

上端筋：中央  $\geq 0/2$ 以内

下端筋：柱面よりせいの(D)以上離し、 $\geq 0/4$ を加えた範囲以内

(2) 継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。

(3) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。

図7.1 梁主筋の梁内定着

(4) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。

なお、定着の方法は3.1(b) (2)による。

上端筋：曲げ等す

下端筋 (一般)：原則、曲げ上げる。

下端筋 (ハンチ付き)：原則、曲げ上げる。

(5) 梁にハンチをつける場合、その傾斜は構造図による。

(6) 段違い梁は、図7.2による。

吊上げ筋は、あばら筋より1サイズ太い鉄筋又は同径の鉄筋を束ねたものとする。

図7.2 段違い梁

(c) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図7.3による。

$\geq 15d$  (余長)

継手長さ

$\geq 15d$  (余長)

継手長さ

$\geq 15d$  (余長)

継手長さ

$\geq 15d$  (余長)

継手長さ

最上層

一般層

上端筋

下端筋

$\geq 15d$  (余長)

継手長さ

$\geq 15d$  (余長)

継手長さ

(注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合 (基礎梁を除く) には、フックを付ける。

2. 印は、継手及び余長を示す。

3. 破線は、柱内定着の場合を示す。

4. 梁主筋のみ込み長さ (柱せいの3/4倍以上)

図7.3 大梁の重ね継手、定着及び余長

富永建築設計事務所

1級建築士事務所

登録番号 23(1)4914号

広島県庄原市川手町276-1

TEL 0824-72-6669

1級建築士登録

第211472号 富永隆司

富永

東城ストックヤード施設 新築工事

特記仕様書-2

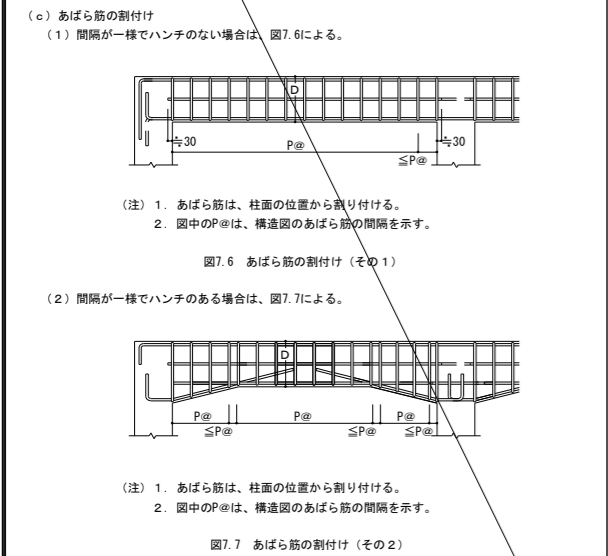
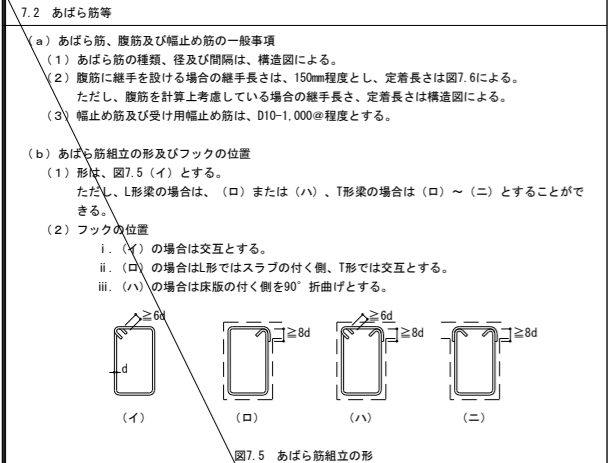
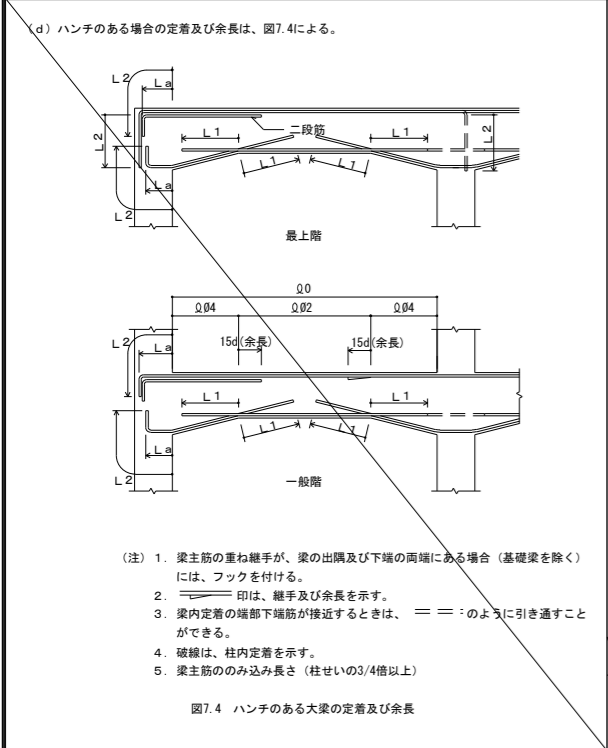
縮尺

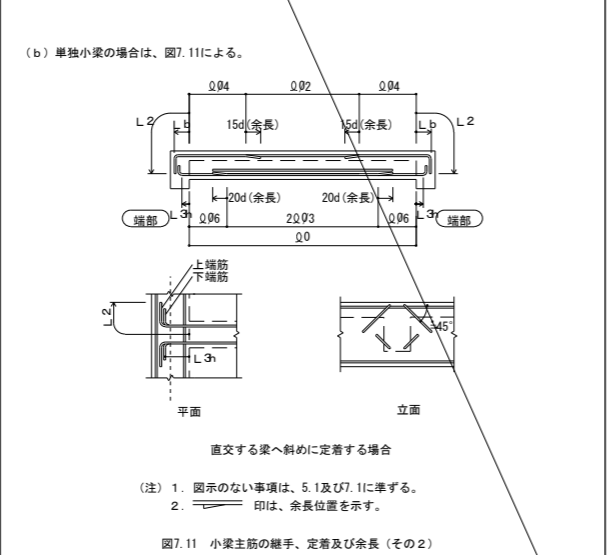
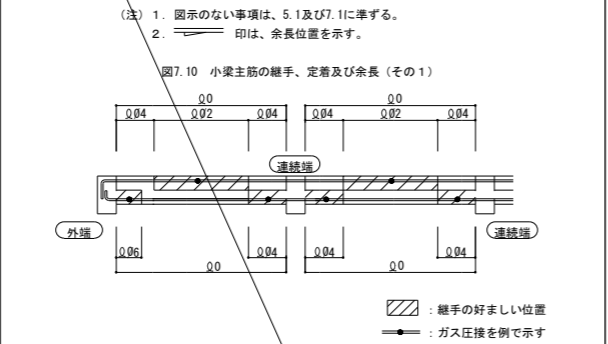
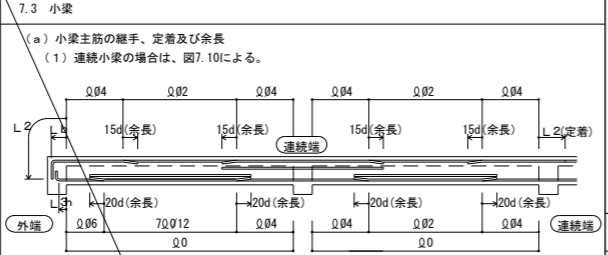
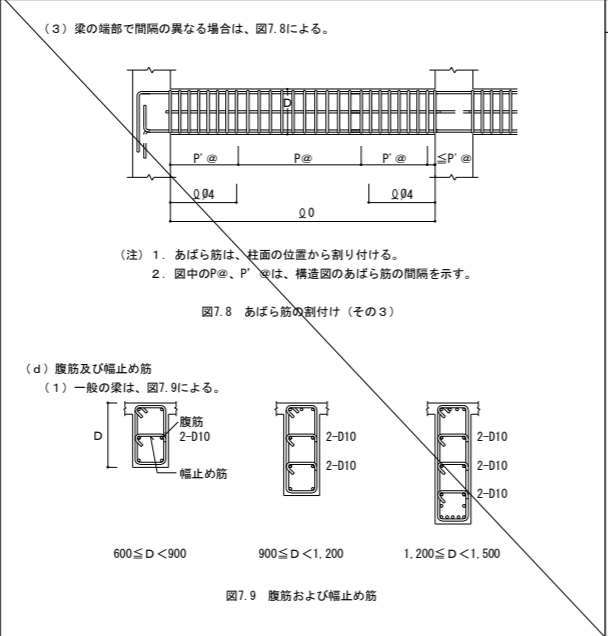
設計

図面番号

R7・3

S-2



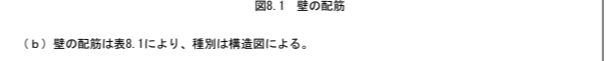
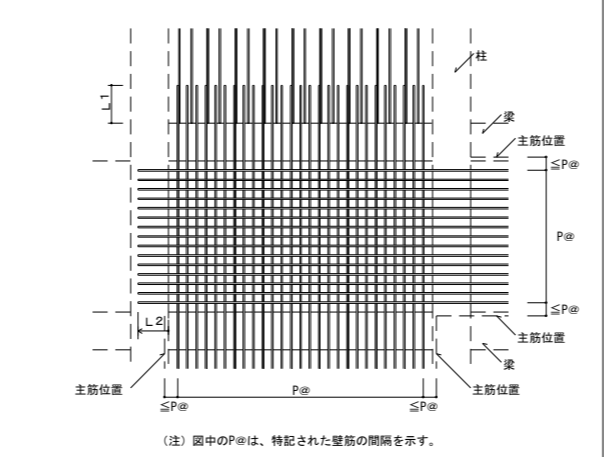
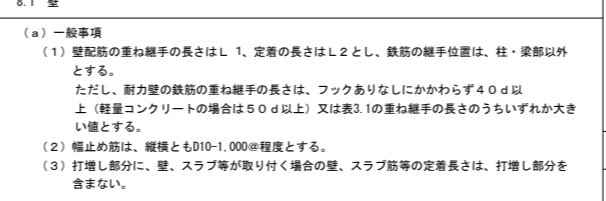
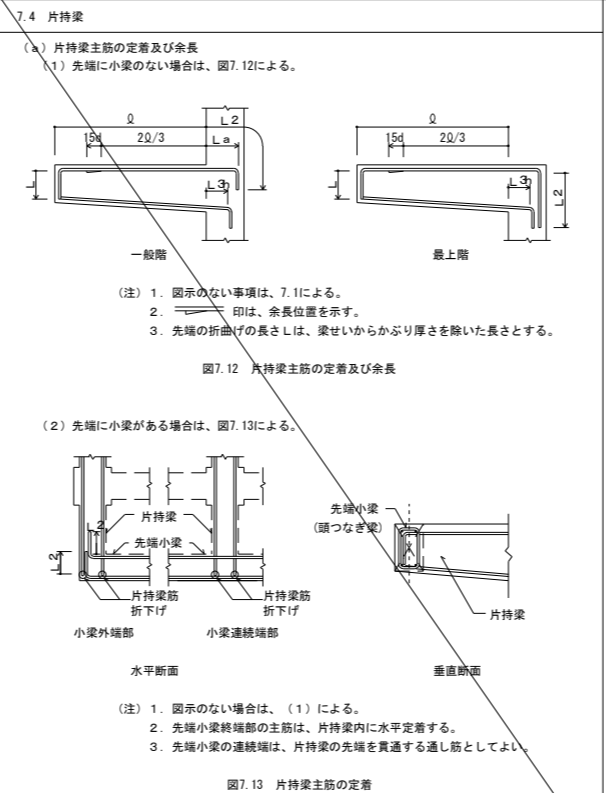



表8.1 壁の配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

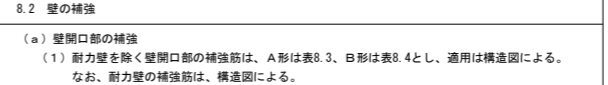
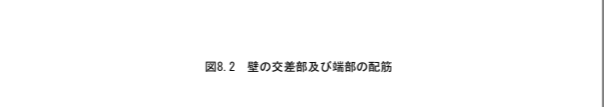
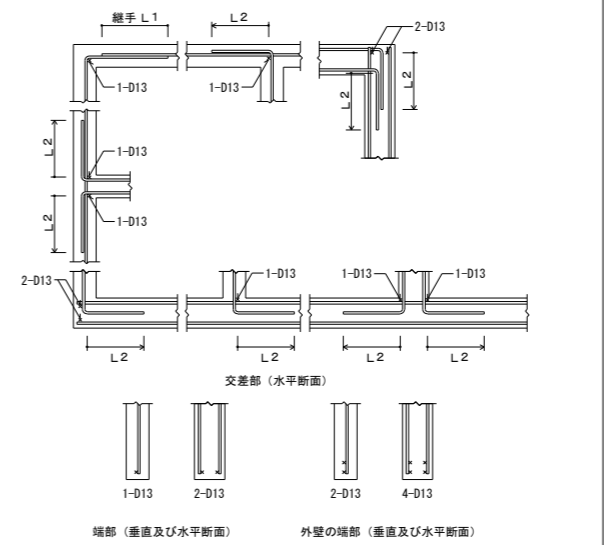
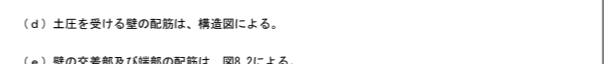
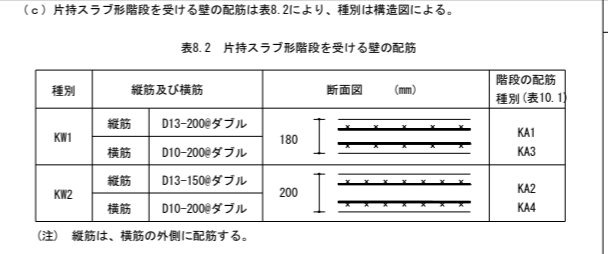
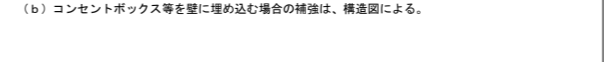
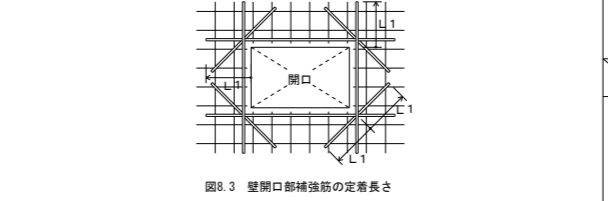
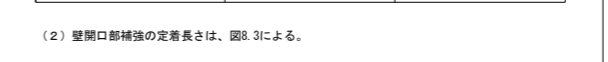



表8.3 壁開口部補強筋 (A形)

壁の種別	補強筋
W12, W15	縦横 1-D13
W18, W20	縦横 2-D13

表8.4 壁開口部補強筋 (B形)

壁の種別	補強筋
W12, W15	縦横 2-D13
W18, W20	縦横 4-D13



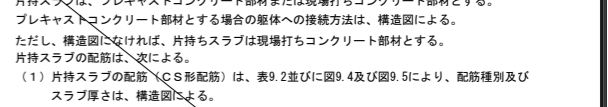
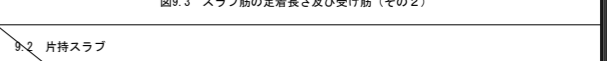
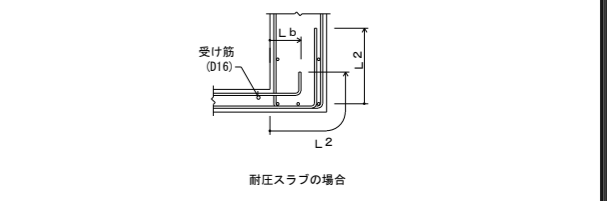
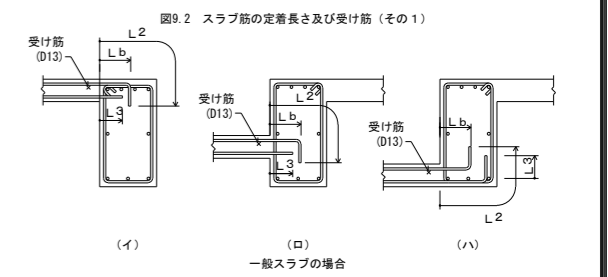
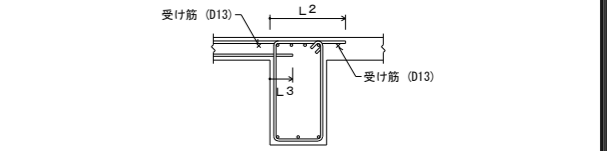
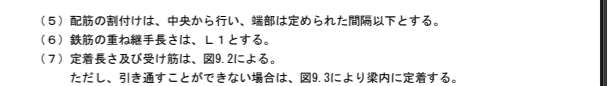
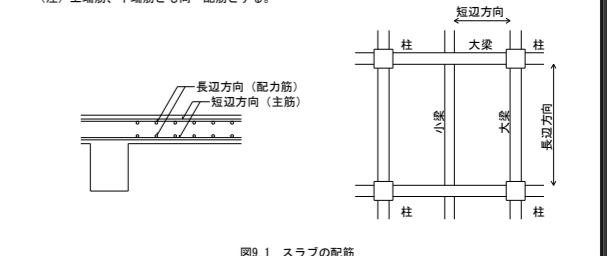
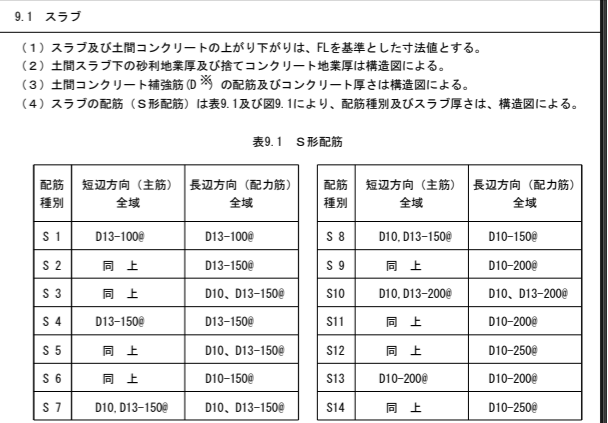
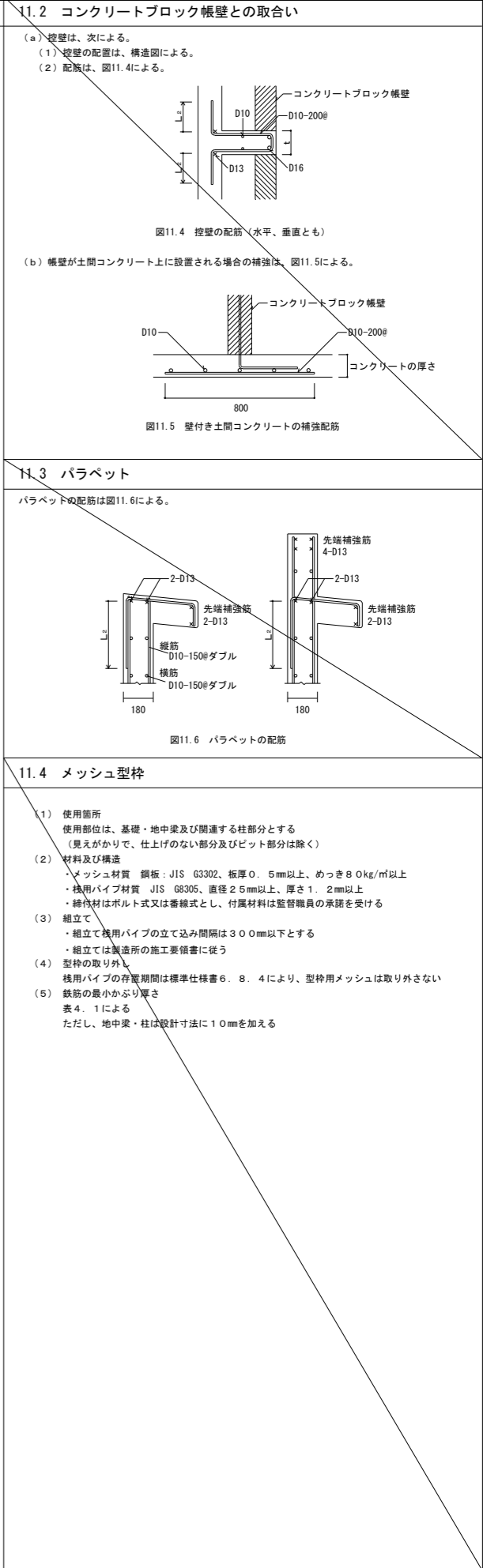
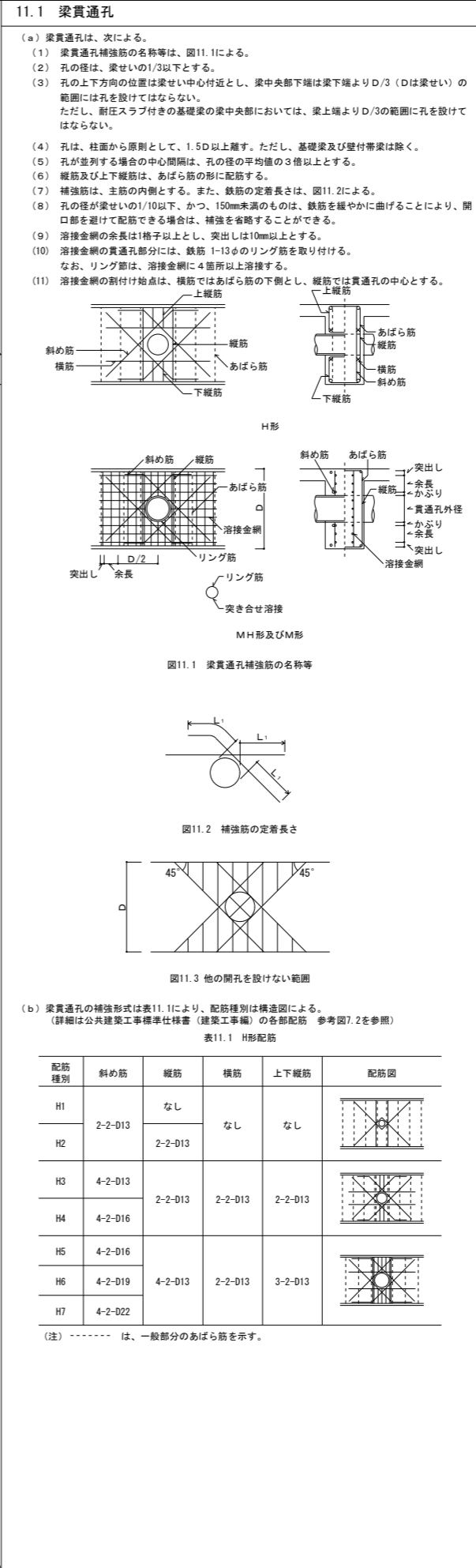
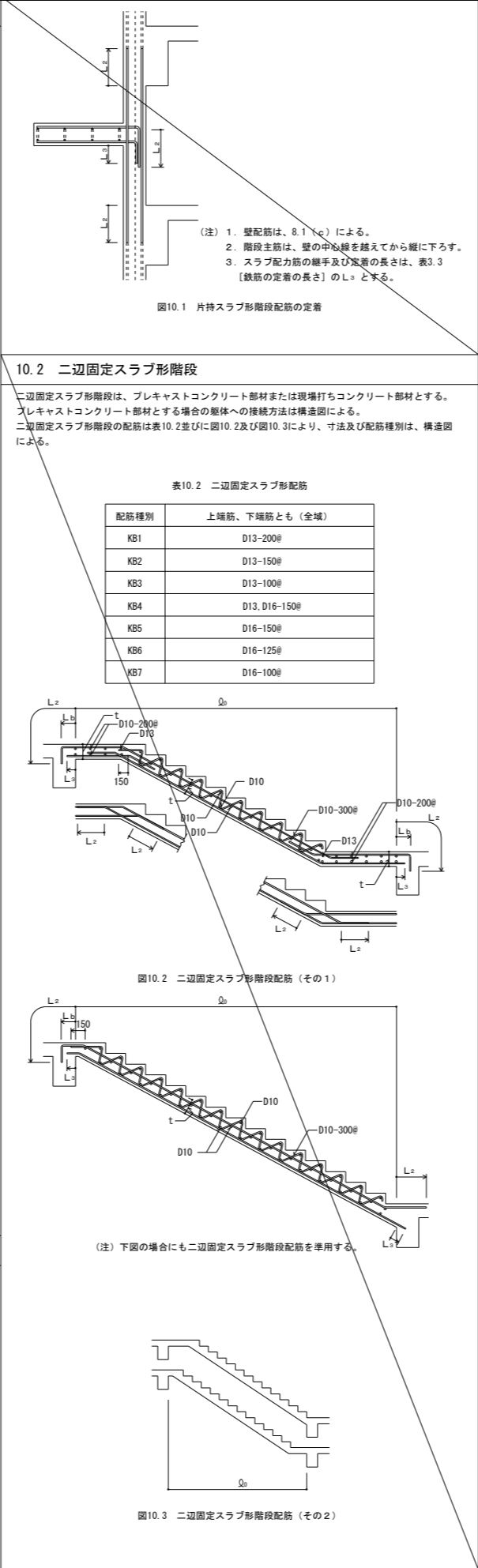
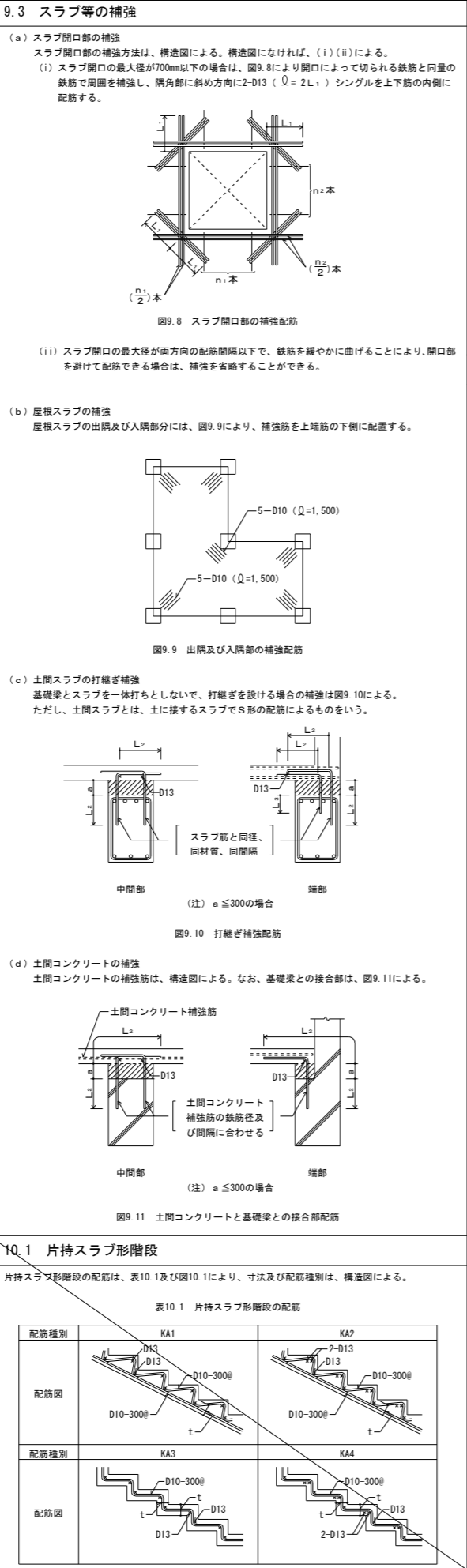
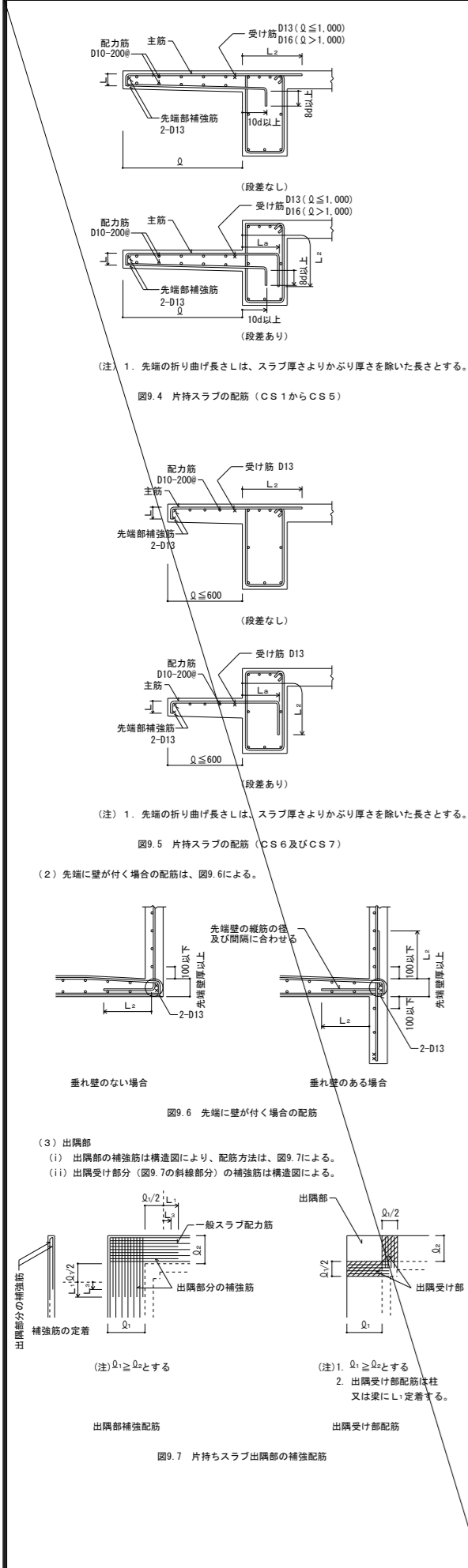



表9.2 CS形配筋

配筋種別	主筋
CS1	上 D13-100@ 下 D13-200@
CS2	上 D13-150@ 下 D13-300@
CS3	上 D10、D13-150@ 下 D10、D13-300@
CS4	上 D10、D13-200@ 下 D10-200@

配筋種別	主筋
CS5	上 D10-200@ 下 D10-400@
CS6	上 D10、D13-200@ 下 —
CS7	上 D10-200@ 下 —



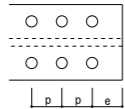
構造関係共通事項(鉄骨標準図)

1-1 縁端距離及びボルト間隔

(a) 縁端距離及びボルト間隔  
縁端距離及びボルト間隔は、表1.1による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合の縁端距離は、構造図による。構造図になければ、ボルト軸径の2.5倍以上とする。  
また、アンカーボルトの縁端距離は構造図による。

表1.1 縁端距離及びボルト間隔 (単位mm)

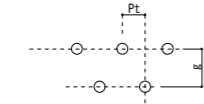
ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12	40	60
M16		
M20		
M22		
M24	45	70



(b) 千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔  
千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.2による。

表1.2 千鳥のゲージ及びボルト間隔 (単位mm)

ゲージ g	千鳥打ちのボルト間隔 Pt	
	M12、M16、M20、M22	M24
35	50	65
40	45	60
45	40	55
50	35	50
55	25	45
60	-	40



(c) 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径  
形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.3による。

表1.3 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径 (単位mm)

A又はB	g <sup>1</sup>	g <sup>2</sup>	最大軸径	B		最大軸径	B		最大軸径
				g <sup>1</sup>	g <sup>2</sup>		g <sup>1</sup>	g <sup>2</sup>	
45	25		12	100	56	16	50	30	12
50	28		16	125	75	16	65	35	20
60	35		16	150	90	22	70	40	20
65	35		20	175	105	22	75	40	22
70	40		20	200	120	24	80	45	22
75	40		22	250	150	24	90	50	24
80	45		22	300	150	40 <sup>※1</sup>	100	55	24
90	50		24	350	140	70	24		
100	55		24	400	140	90	24		
125	50	35	24	※1 千鳥打ちとした場合					
130	50	40	24						
150	55	55	24						
175	60	70	24						
200	60	90	24						

(d) ボルト記号

表1.4 高力ボルト径の記号

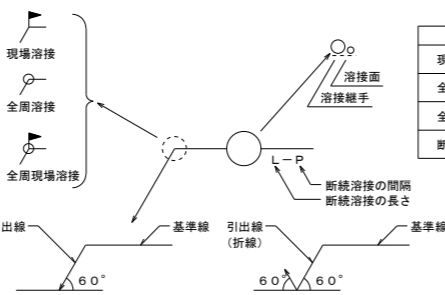
区分	径	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト (F10T、S10T)		○	Φ	Φ	※	※
溶融亜鉛めっき高力ボルト (F8T相当)				+	※	※

表1.5 普通ボルト径の記号

区分	径	M12	M16	M20	M22	M24
普通ボルト		○	Φ	Φ	※	※

表1.6 溶接継手及び溶接面の分類記号

溶 接 継 手	分 類		記 号
	完全溶込み溶接	突合わせ継手	
		T型継手	
		かど継手	
溶 接 面	隅肉溶接		F
	部分溶込み溶接		P
	フラア溶接		FL
	片面溶接		1
	両面溶接		2



区 分		補助記号
現 場 溶 接		▶
全 周 溶 接		○
全 周 現 場 溶 接		▶○
断続溶接の長さ及び間隔		L-P

図1.1 溶接記号の記載例

1-2 溶接継手の種類別開先標準

突合わせ継手(B)の開先標準

(単位：mm)			
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 6		t ≤ 12	
6 < t ≤ 19		12 < t ≤ 22	
19 < t ≤ 40		22 < t ≤ 40	

T型継手(T)の開先標準

(単位：mm)			
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 6		t ≤ 12	
6 < t ≤ 19		12 < t ≤ 22	
19 < t ≤ 40		22 < t ≤ 40	

部材が直交しない場合の開先標準

(単位：mm)		
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	
6 < t ≤ 40	6 < t ≤ 19	19 < t ≤ 40

かど継手(L)の開先標準

(単位：mm)			
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 6		t ≤ 12	
6 < t ≤ 19		12 < t ≤ 19	
19 < t ≤ 40		19 < t ≤ 40	

隅肉溶接(F)の開先標準

(単位：mm)		
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	
t ≤ 16	t ≤ 16	16 < t ≤ 40

隅肉溶接のサイズ

(単位：mm)															
t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22
s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	13	15

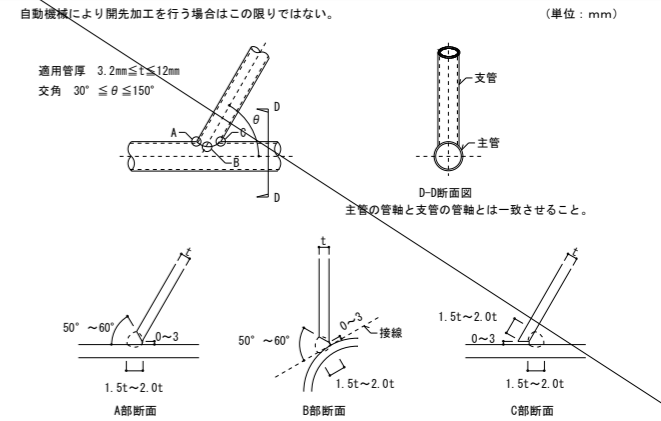
部分溶込み溶接(P)の開先標準

(単位：mm)	
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
12 ≤ t ≤ 40	16 ≤ t ≤ 40

フラア溶接(FL)の開先標準

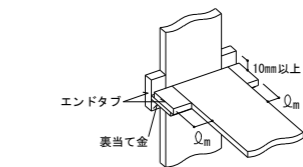
(単位：mm)			
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)			
1 (丸鋼等片面溶接)	2 (丸鋼等両面溶接)	3 (軽量形鋼V形溶接)	4 (軽量形鋼し形溶接)

1-3 鋼管分岐継手詳細



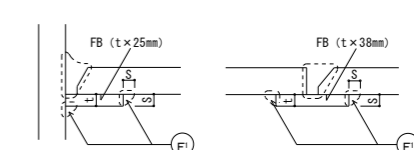
1-4 鉄骨溶接施工

- (a) エンドタブ・裏当て金の鋼材の種類及び引張強さによる区分は、母材と同等とする。  
(b) エンドタブ  
エンドタブの形状は母材と同厚・同間先のものとする。



溶接方法	Q <sub>m</sub>
手溶接	35以上
半自動溶接	38以上
自動溶接	70以上

- (c) 裏当て金  
(1) 裏当て金の組み立て溶接は、接合部に影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行い、梁フランジ両端から10mm以内の位置には行ってはならない。  
(2) 完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は原則としてフランジの内側に設置する。



(単位：mm)	
溶接方法	t
手溶接	6以上
半自動溶接	9以上
自動溶接	12以上

(単位：mm)	
溶接のサイズ	S
裏当て金の厚さ	t ≤ 9
	5
	t > 9
	9

富永建築設計事務所

広島県庄原市川手町276-1  
TEL 0824-72-6669

1級建築士事務所  
登録番号 23(1)4914号

1級建築士登録  
第211472号 富永隆司



東城ストックヤード施設 新築工事

特記仕様書-5

縮尺

設計

R7・3

図面番号

S-5

### 梁貫通形式の場合

t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

鋼材の種類	規格	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	バース温度 (℃)
400N級鋼	JIS Z 3211	引強さ570MPa以上ものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW11、15	40以下	350以下
		YGW18、19	30以下	450以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U	40以下	350以下
		T490Tx-yMA-U		
		T550Tx-yCA-U		
		T550Tx-yMA-U	30以下	450以下
490N級鋼	JIS Z 3214	引強さ570MPa以上ものを除く		
	JIS Z 3315	G49AQU-CQJ	40以下	350以下
		G49AQU-NCQ、NCCT 等		
	JIS Z 3211	引強さ570MPa以上ものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW11、15	30以下	250以下
		YGW18、19	40以下	350以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U	30以下	250以下
		T490Tx-yMA-U		
		T550Tx-yCA-U		
		T550Tx-yMA-U	40以下	350以下
520N級鋼	JIS Z 3214	引強さ570MPa以上ものを除く		
	JIS Z 3315	G49AQU-CQJ	40以下	350以下
		G49AQU-NCQ、NCCT 等		
	JIS Z 3312	YGW18、19		
400N級STKR、 BOR及びBCP	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U	30以下	250以下
		T550Tx-yMA-U		
	JIS Z 3312	YGW11、15	30以下	250以下
		YGW18、19	40以下	350以下
		T490Tx-yCA-U	30以下	250以下
		T490Tx-yMA-U		
490N級STKR、 及びBCP	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U	40以下	350以下
		T550Tx-yMA-U		
	JIS Z 3312	YGW18、19		
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U	30以下	250以下
		T550Tx-yMA-U		

L : 片面フレア溶接の場合 10d  
両面フレア溶接の場合 5d  
L a 及び L b は 1 d (軽量形鋼については 1 S) 以上  
d : 異形鉄筋の呼び名に用いた数値  
S : 溶接のサイズ

H : 鉄骨せい  
D : はりせい  
 $\phi$  : 貫通孔の内径寸法  
( $\phi \leq H/2$ かつ $\phi \leq D/3$ )

$Q_1$ は3φまたは $Q_2$ のうち小さい方とする。(e ≥ H とする)  
e: 材端と補強プレートの間隔

(単位: mm)								
鉄筋の呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
鉄筋貫通孔の径	21	24	28	31	35	38	43	46

(bs) : 主筋と平行する鉄骨とのあき

適用範囲

(a) 耐震改修共通事項は、耐震改修工事における構造関係の共通の事項とする。

(b) 耐震改修共通事項以外については、設計図及び監督職員の指示による。

設計図書の図面間で配筋方法に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。

1. 改修特記仕様書

2. 図面

└ 2-1 耐震改修標準図、構造関係共通事項（配筋標準図、鉄骨標準図）を除く図面

└ 2-2 耐震改修標準図、構造関係共通事項（配筋標準図、鉄骨標準図）












3. 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（令和4年度版）」

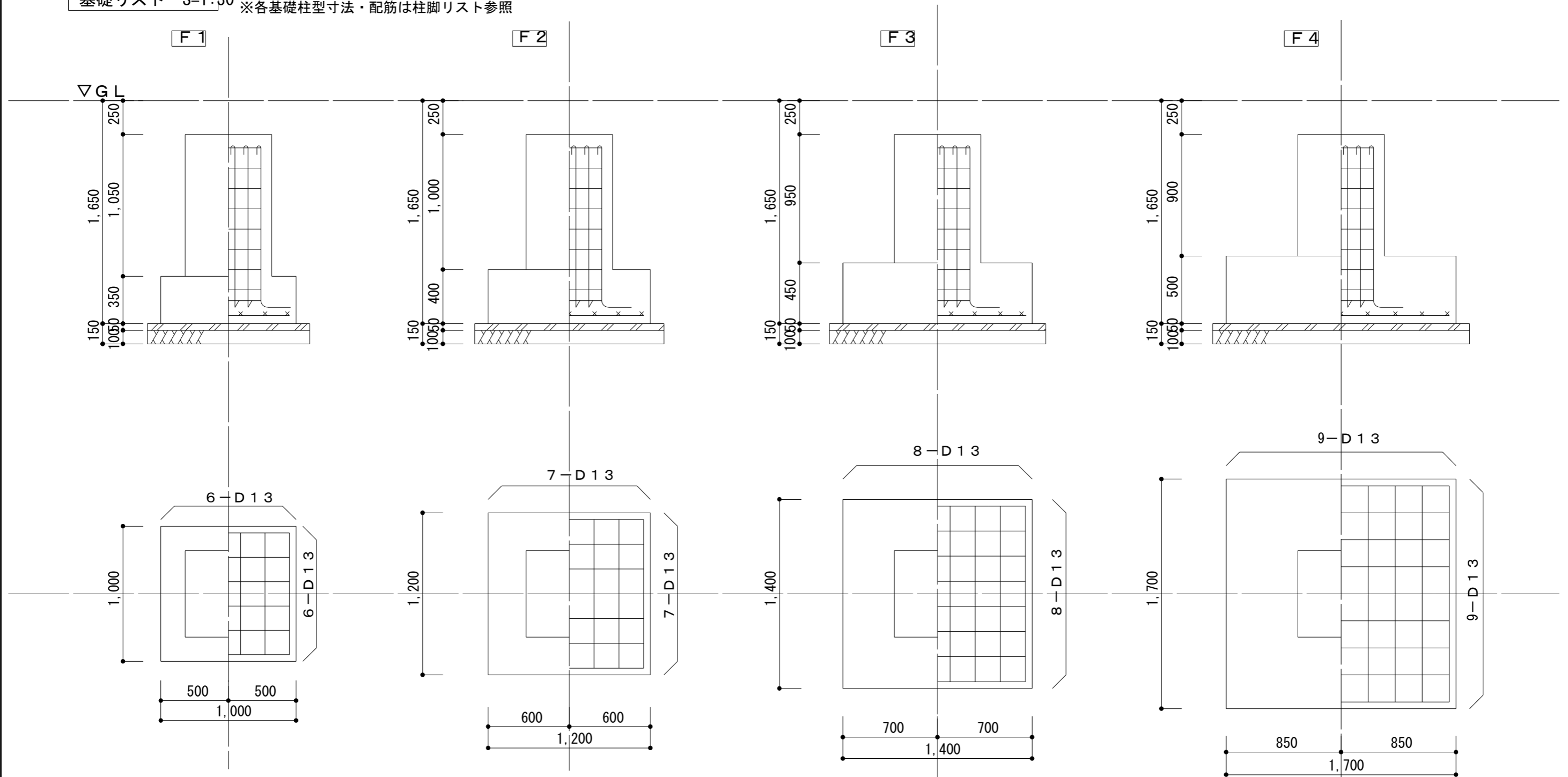
用語の定義

(a) 異形鉄筋の径（本文・図・表において「D、d」で示す。）は、呼び名に用いた数値とする。

(b) 長さ・厚さの単位は、特記なき限りmmとする。

設計図中で使用する記号は、表 1、表 1. 2 を標準とする。

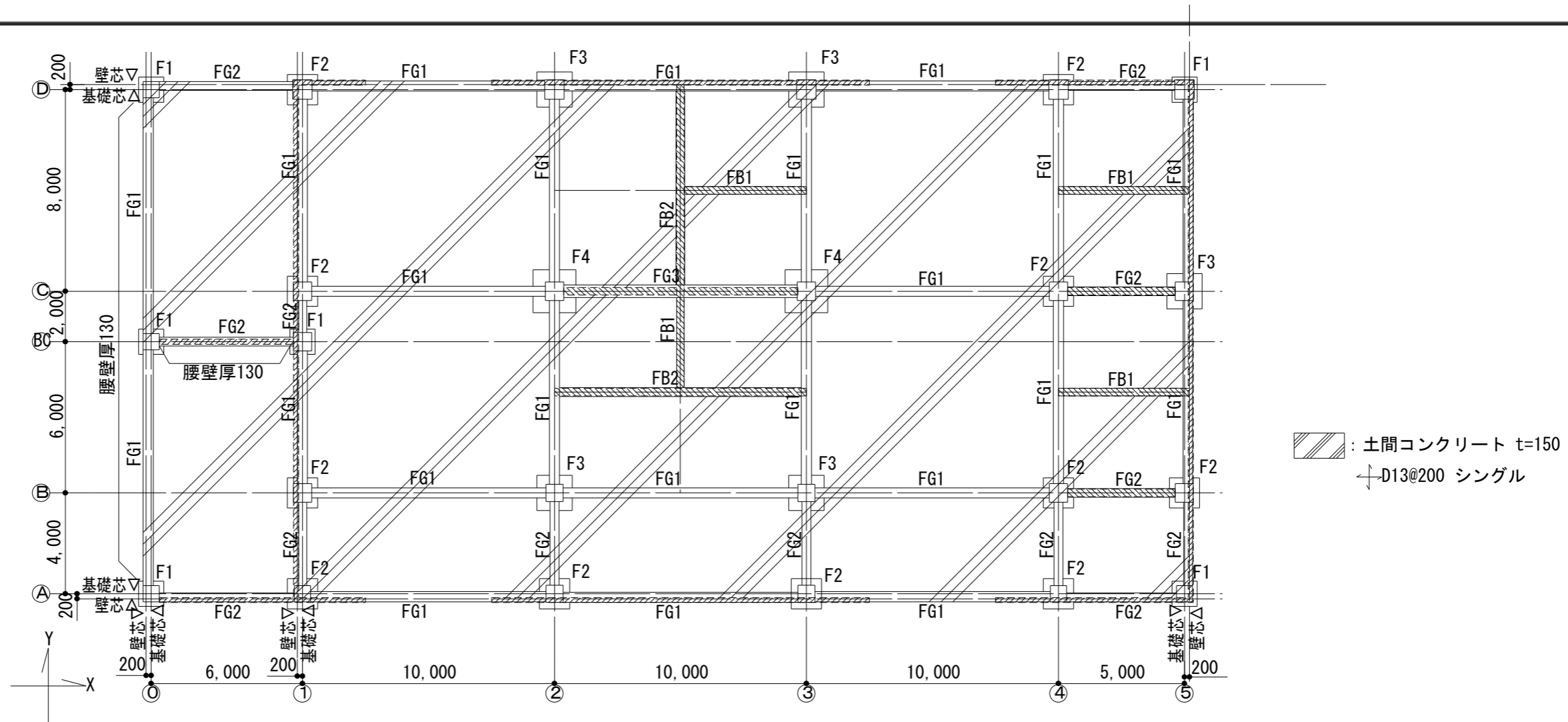
記 号	説 明	記 号	説 明
	スラブの配筋種別		杭の位置
	スラブ厚さ		試験杭の位置
	階段の配筋種別		打増しの範囲
	土間コンクリート		スラブ開口
	コンクリートブロック壁 (C B 壁)		ボーリング位置
	梁・スラブの上がり下りの範囲	( ± )	FLからの上がり下がり



捨コンクリート		Fc=18 N/mm2 S=15
基礎コンクリート		Fc=21 N/mm2 S=15
土間コンクリート		Fc=18 N/mm2 S=15
鉄筋	≦ D16	SD295A
	≧ D19	SD345

符 号	スラブ厚	鉄筋 短辺方向	鉄筋 長辺方向	鉄筋 開口補強筋	砕石厚
土間コンDS1	150	D13-@200 シングル	D13-@200 シングル	2-D16	100

※鉄筋の継手及び定着長さは40d以上とする。  
※柱角には斜め補強筋2-D13を菱形で配筋すること。  
※土間コンクリートとFG取り合い部分には定着筋D13@200を設置すること。



基礎伏図 S:1/200

地中梁リスト S:1/30

符号	FG1	FG2	FG3	FB1	FB2	
B × D	400 × 1000	350 × 1000	400 × 1100	300 × 600	350 × 1000	
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	端部	中央
断面						
主筋	4/1-D25	3-D25	4/2-D25	2-D25	3-D25	3-D25
主筋	4/1-D25	3-D25	4/2-D25	2-D25	3-D25	6-D25
STRAP	2-D13@250	2-D10@200	2-D13@200	2-D10@200	2-D13@150	
腹筋	4-D10	4-D10	4-D10	2-D10	4-D10	

腰壁詳細図 S:1/30

凡例			
断面			
壁厚	180	130	250
立上り高さ	0通り~1通り間 : GL+1,000 その他 : GL+3,000		GL+3,000

富永建築設計事務所

広島県庄原市川手町276-1  
TEL 0824-72-6669

1級建築士事務所  
登録番号 23(1)4914号  
1級建築士登録  
第211472号 富永隆司



東城ストックヤード施設 新築工事

基礎伏図・地中梁リスト

縮尺

S:1/30  
S:1/200

設計

R7・3

図面番号

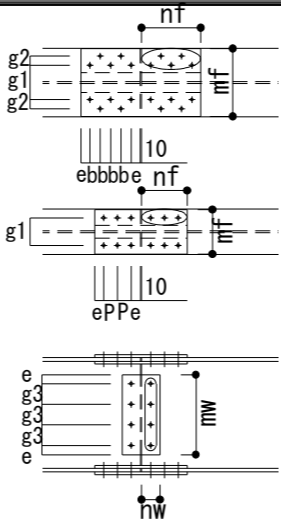
S-9

柱リスト

特記なき限り下記による

・使用鋼材はBCR295とする

符 号			部 材	備 考
C1	1C1		□-250x250x12	I S ベース S P 2 5 3
2C1	2C2		□-250x250x12	
1C2	1C3		□-250x250x16	I S ベース S P 2 5 4
2C3			□-250x250x16	



ボルトピッチ

ボルト径	e	P	b
M16	40	60	45
M20	40	60	45
M22	40	60	45

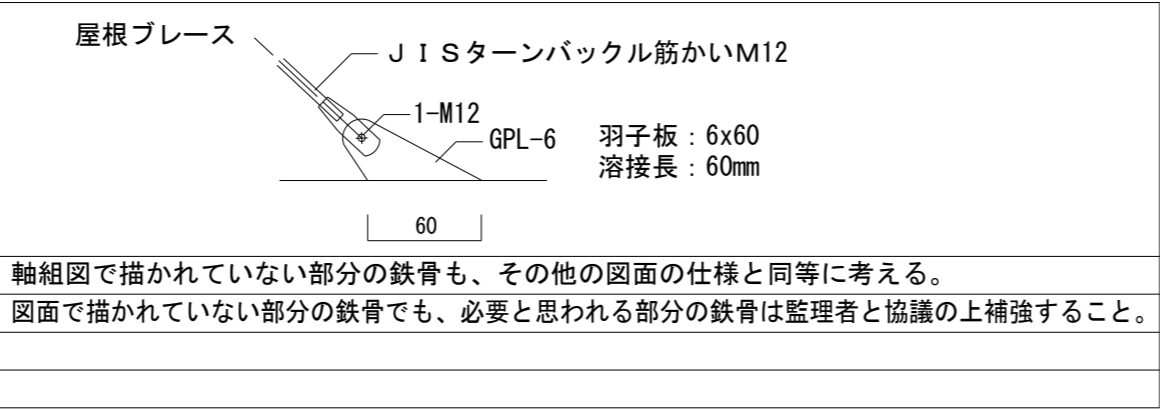
大梁リスト

特記なき限り下記による  
・使用鋼材はSS400とする

符 号			部 材	FLANGE						WEB				備 考
				HTB	nf	mf	g1	g2	SPL	mw	nw	g3	SPL	
RG1	RG2	RG3	H-340x250x9x14	M20	4	2	150	-	SPL- 12x250x530 2SPL- 12x100x530	3	2	60	2SPL- 9x200x290	
RG4	RG5	RG6	H-350x175x7x11	M16	3	2	105	-	SPL- 9x175x410 2SPL- 9x70x410	4	1	60	2SPL- 9x260x170	
2G1	2G2		H-340x250x9x14	M20	4	2	150	-	SPL- 12x250x530 2SPL- 12x100x530	3	2	60	2SPL- 9x200x290	

使用構造材料		
適用箇所	種 類	設計溶接強度
柱	BCR295	1.0F
ﾀﾞｲﾌﾗﾑ	SN490C	1.0F
梁,その他	SS400	1.0F

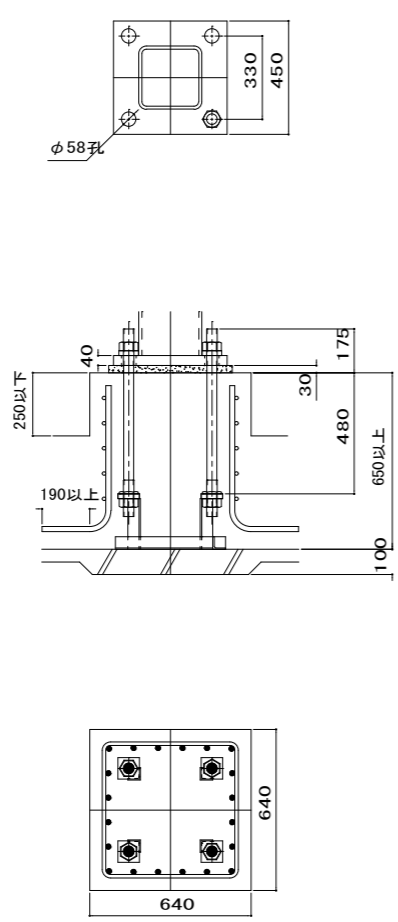
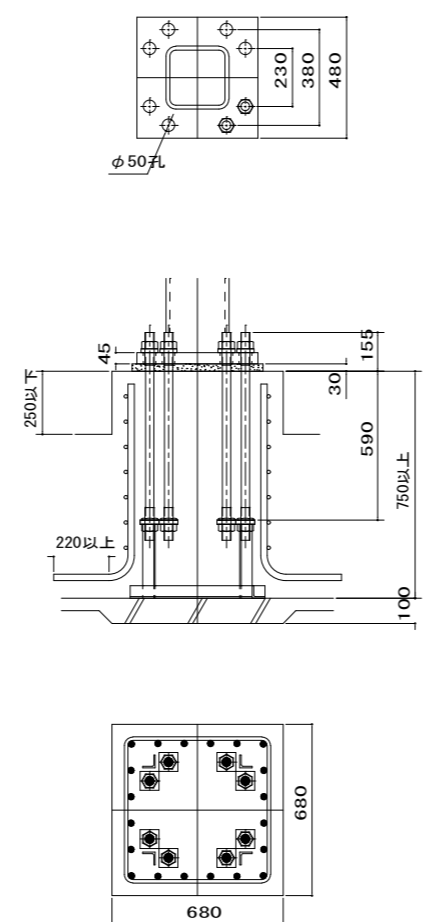
※ハイテンションボルト F10T or S10T  
※特記なき限り梁ジョイント位置は800とする。  
※施工上必要な部分には 胴縁を入れること。  
※詳細は、施工図にて指示とする。  
※STボルトはトルシア型高力ボルトMBLT-9018（日本ファスナー工業 JEFトルクボルト JIS H 8641同等品）とする。  
※BCR295はMSTL-0141同等品とする。



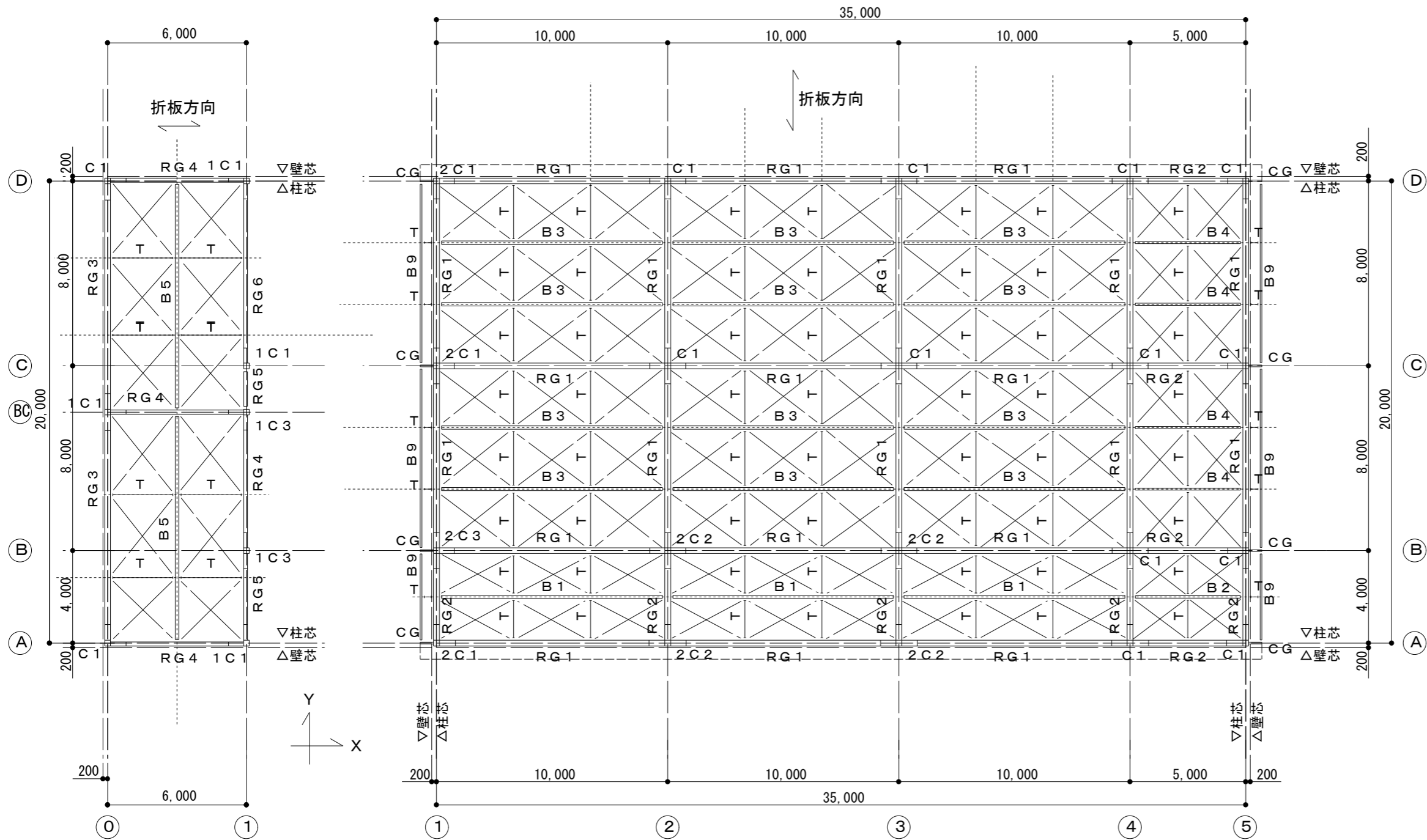
小梁・雑リスト

特記なき限り下記による  
・使用鋼材はSS400とする

符 号		部 材	接合部		備 考
			HTB	GPL	
P		□-200x200x6	2-M20	GPL-12	BPL-16×240×400 (S S 400) A. Bolt 2-M16 L=400 W. Nut
B1		H-250x125x6x9	3-M20	GPL-12	1 通端部
B1		H-250x125x6x9	3-M16	GPL-6	その他の継手
B2	B4	H-200x100x5. 5x8	4-M20	GPL-12	ボルト：2本×2列
B3		H-300x150x6. 5x9	3-M22	GPL-12	1・A・D通端部
B3		H-300x150x6. 5x9	3-M20	GPL-9	その他の継手
B5		H-350x175x7x11	3-M20	GPL-12	
B6	B9	H-150x75x5x7	2-M16	GPL-6	
B7	B8	H-250x125x6x9	3-M20	GPL-12	
B10		H-294x200x8x12	3-M20	GPL-9	
RG5		H-350x175x7x11	3-M20	GPL-12	
T		[-125x65x6x8	3-M20	GPL-9	
CG		H-150x75x5x7			全周溶接
胴縁		C-100x50x20x2. 3	中ボルト 2-M12	GPL-6	@600 ネコL-90×90×6
水平ブレース		1-M12	1-M12	GPL-6	
折板受		C-100x50x20x2. 3			スポット溶接

柱脚記号	SP253	柱脚記号	SP254
柱寸法	□250×250×12	柱寸法	□250×250×16
アンカーボルト	4-M42	アンカーボルト	8-M36
ベースプレート	450×450×40	ベースプレート	480×480×45
柱形断面	最小：640×640	柱形断面	最小：680×680
	最大：840×840		最大：980×980
最小コンクリート強度	21 N/mm52	最小コンクリート強度	21 N/mm52
柱主筋	20-D19	柱主筋	20-D22
帯筋	D13@100	帯筋	D13@100
回転剛性	54,000kN・m/rad	回転剛性	63,000kN・m/rad
			

	<div>富永建築設計事務所</div> <div>1級建築士事務所</div> <div>登録番号 23(1)4914号</div> <div>広島県庄原市川手町276-1</div> <div>1級建築士登録</div> <div>TEL 0824-72-6669</div> <div>第211472号 富永隆司</div>		東城ストックヤード施設 新築工事	縮尺	設計	図面番号
			柱脚リスト	S:1/30	R7・3	S-12



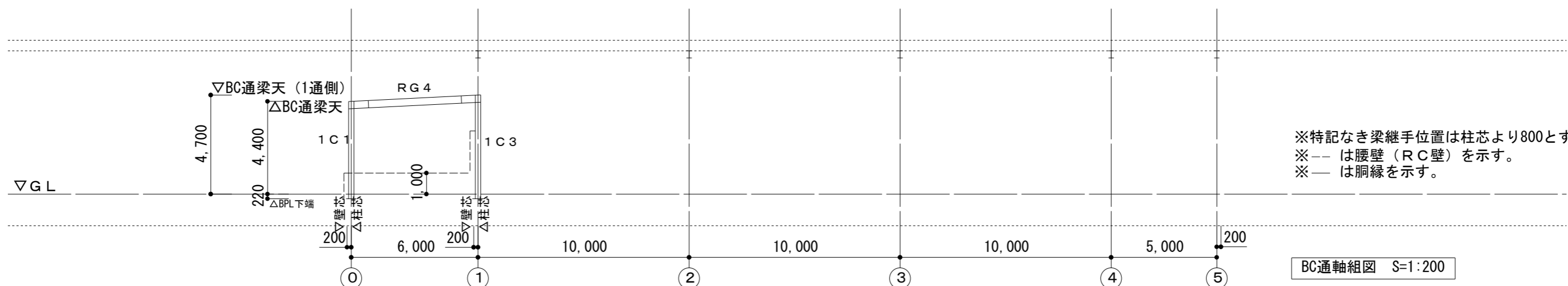
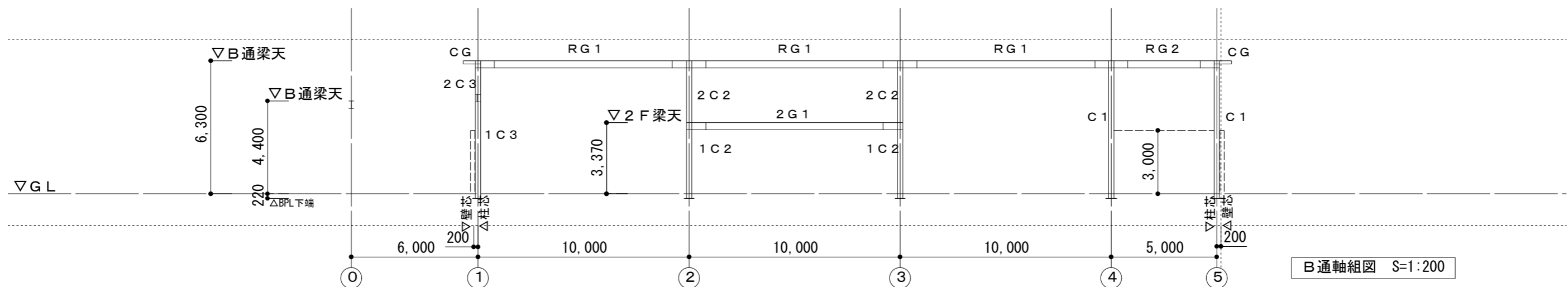
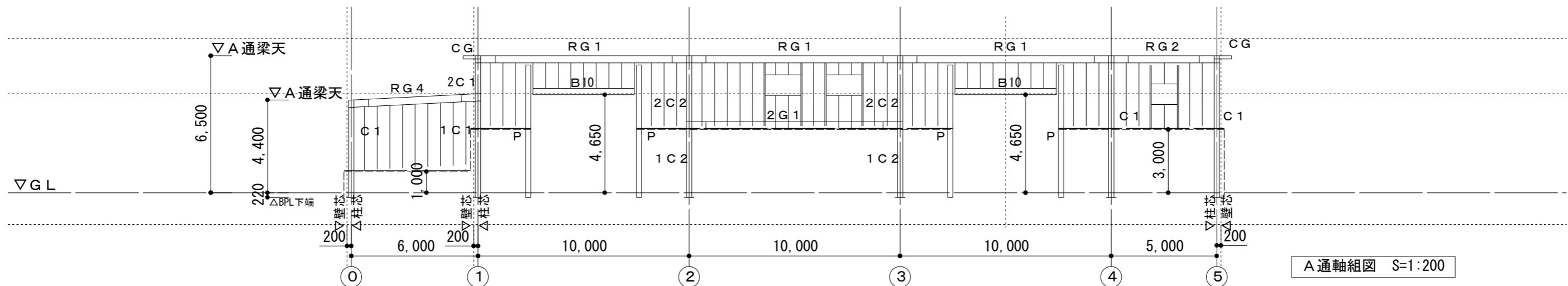
1階柱L R階梁伏図 S: 1/200

2階R階梁伏図 S: 1/200

1階2階梁伏図 S: 1/200


※特記なき梁継手位置は柱芯から800とする。

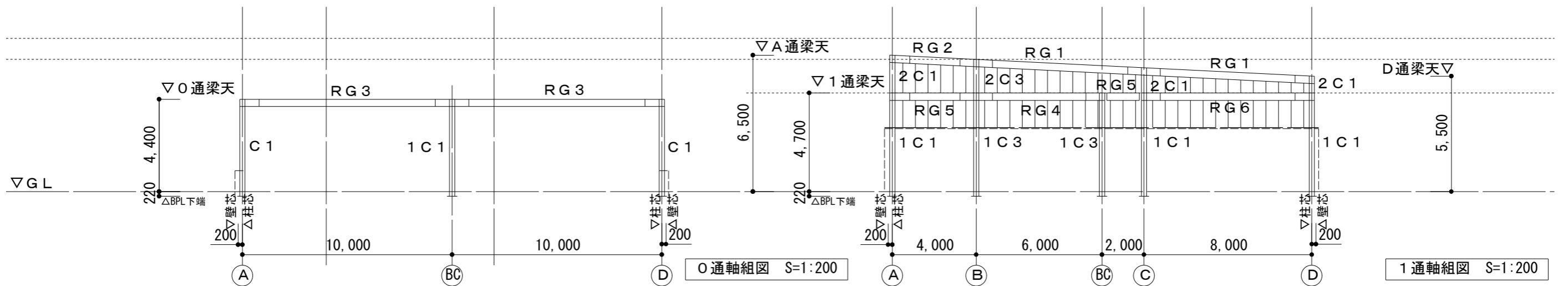
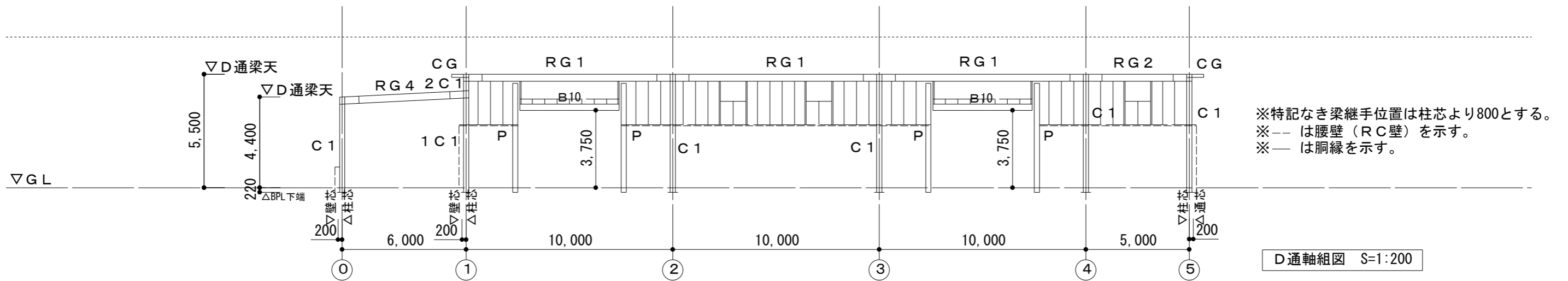
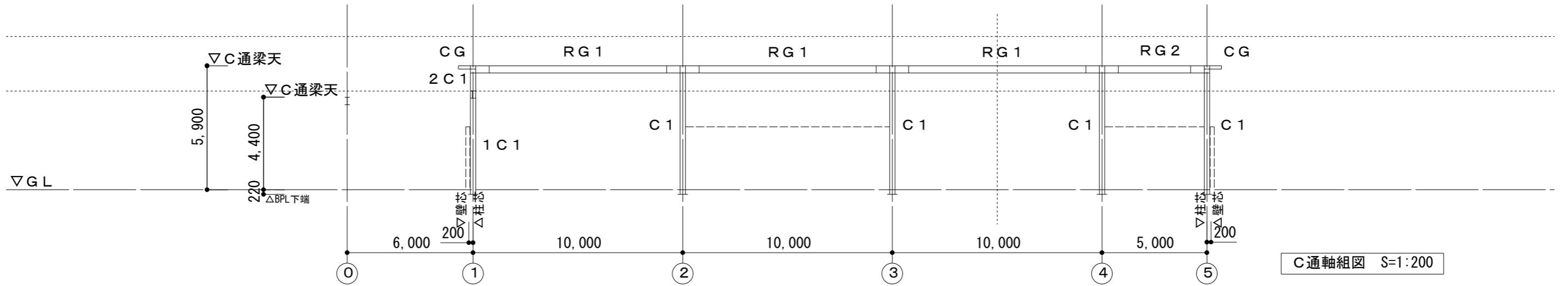
	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669	1級建築士登録 第211472号 富永隆司	東城ストックヤード施設 新築工事	縮尺	設計	図面番号
				S:1/200	R7・3	S-13
				鉄骨伏図		

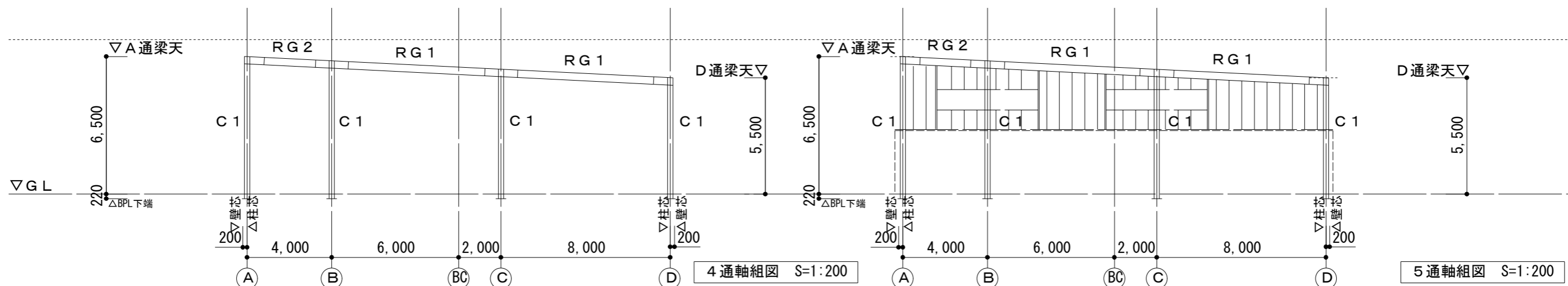
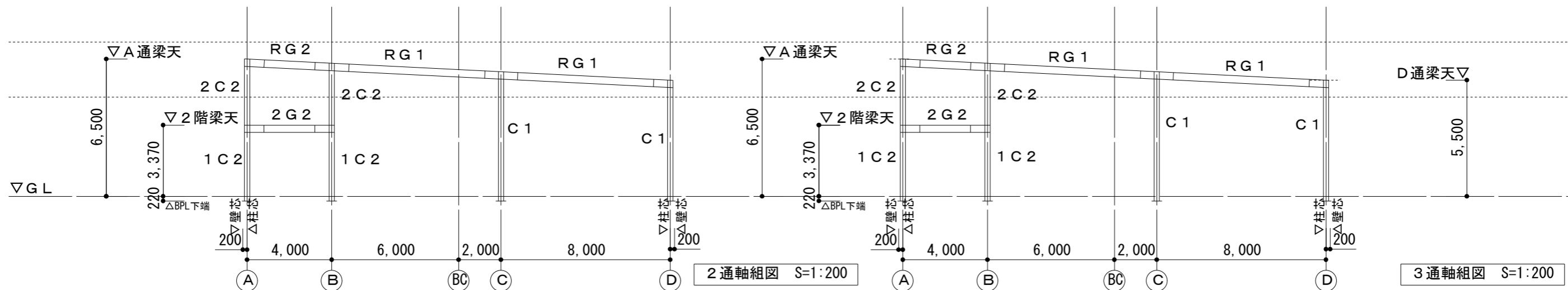


※特記なき梁継手位置は柱芯より800とする。  
※-- は腰壁（RC壁）を示す。  
※— は胴縁を示す。

※特記なき梁継手位置は柱芯より800とする。

	富永建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 1級建築士登録 第211472号 富永隆司		東城ストックヤード施設 新築工事		縮尺	設計	図面番号
			軸組図 1		S:1/200	R7・3	S-14

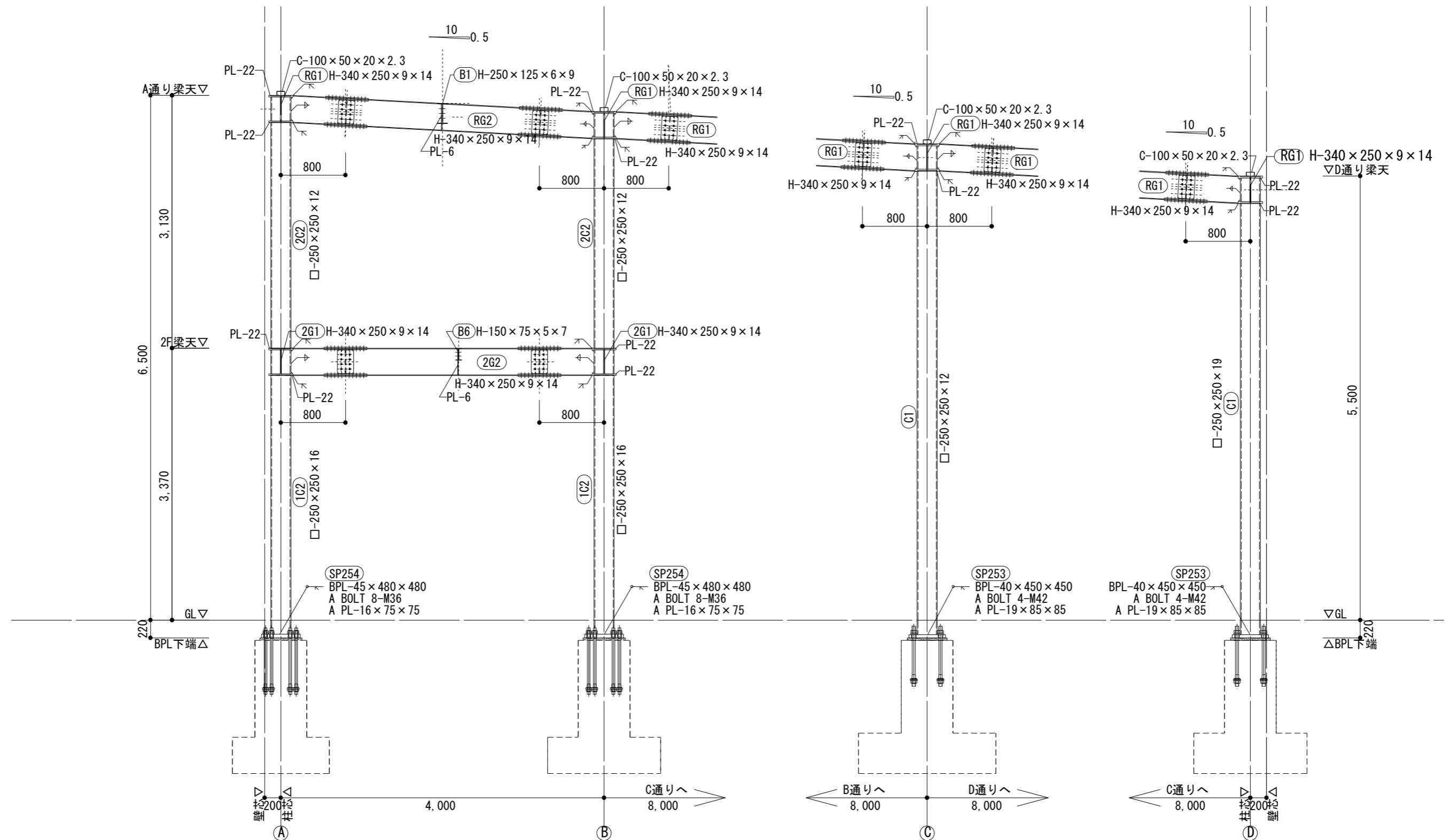




※特記なき梁継手位置は柱芯より800とする。  
※--- は腰壁（RC壁）を示す。  
※— は胴縁を示す。

	富永建築設計事務所	1級建築士事務所 登録番号 23(1)4914号 1級建築士登録 第211472号 富永隆司	東城ストックヤード施設 新築工事	縮尺	設計	図面番号
	広島県庄原市川手町276-1 TEL 0824-72-6669		軸組図 3	S:1/200	R7・3	S-16





2通り構造詳細図 S=1/50

富永建築設計事務所 1級建築士事務所  
登録番号 23(1)4914号  
広島県庄原市川手町276-1  
TEL 0824-72-6669  
1級建築士登録  
第211472号 富永隆司



東城ストックヤード施設 新築工事

鉄骨詳細図2

縮尺

S:1/50

設計

R7・3

図面番号

S-18